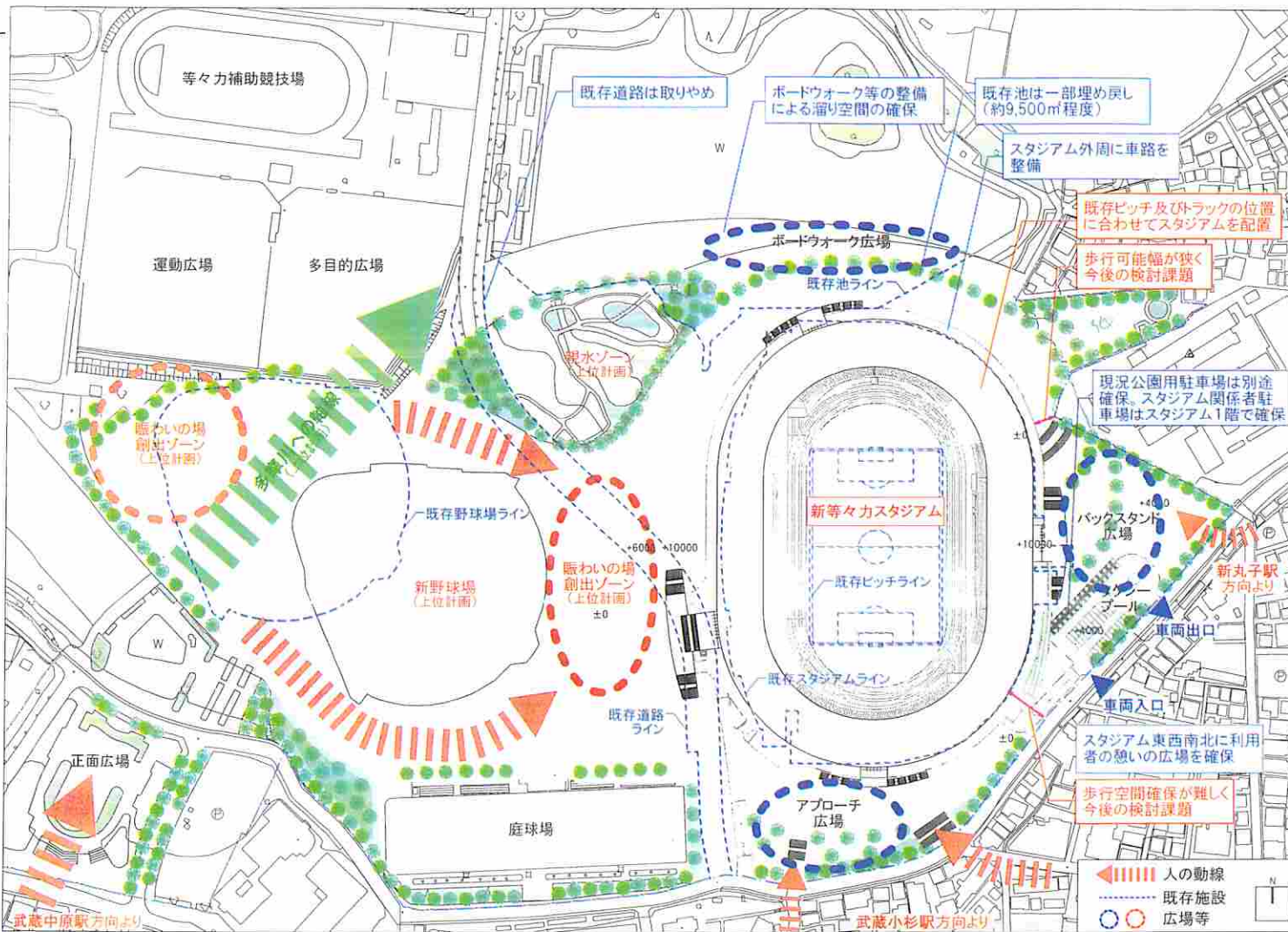


【暫定版】  
※随時更新予定



□ 配置イメージ 1/2500



□ 断面イメージ 1/800

□新等々カスタジアム 計画概要

●建築計画概要

計画名称	(仮称)新等々カスタジアム
計画地	川崎市中原区等々力1-1
地域・地区	都市公園区域、第一種中高層住居専用地域 第2種高度地区、多摩川風致地区
敷地面積	366,278㎡
建築面積	約18,500㎡(可動スタンドを含まない)
延床面積	約42,500㎡(概算・コンコースを含まない)
観客スタンド	約3万5千人(固定3万2千人・可動3千人)
屋根範囲	全席およびコンコース(可動スタンドは含まない)
階数・高さ	地上4階建て程度、高さ約31m程度
構造	RC造、プレキャストPC造、S造
主要外部仕上	屋根:テフロン膜、一部ポリカーボネイト板 観客スタンド:PC板系地 外壁:コンクリート打放し、フッ素樹脂塗装、アルミサッシ
芝生:芝草	サンド構造、暖地型芝草ウィンターオーバーシード方式
陸上トラック	全天候舗装材(ウレタン系舗装材)

●設備計画概要

電気設備	受変電設備、自家発電設備、弱電設備
機械設備	空調設備、給排水設備、消火設備
特殊設備	・大型映像設備:高輝度フルカラーLED方式 200㎡程度:1面 100㎡程度:1面 南北2面設置 ・可動スタンド:約3000席 ・競技場照明設備:高演出メタルハイドランプ (平均2000ルクス以上) ・競技場音響設備:指向性スピーカー集中分散併用方式

□計画条件

- ・既存ピッチ及び外トラックは残置する前提でスタジアムの位置を想定した。
- ・(財)日本サッカー協会「スタジアム標準」及び(社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)「スタジアム検査要綱」に準拠する。
- ・(財)日本陸連「第1種公認陸上競技場」とすること。
- ・敷地面積は「川崎市等々力緑地再編整備基本計画」における現段階で公園として公告しているエリア約36.6haとする。
- ・都市公園法、建築基準法、川崎市条例等関連法規に関する行政折衝、計画の進捗に伴った計画案の調整が必要となります。
- ・可動スタンドは建築面積に含まず、取扱いについては今後の行政折衝が必要となります。



□広域図参考

□ 上位計画・関連法規等について

(1)川崎市等々力緑地再編整備基本計画について

川崎市は等々力緑地の整備、改修を進めるにあたり「等々力緑地再編整備基本計画」をとりまとめている。以下に概略を示す。  
 一等々力緑地再編整備基本計画より3つの検討結果を抜粋

(1)「みどり豊かなやすらぎと安全・安心の場となる公園」

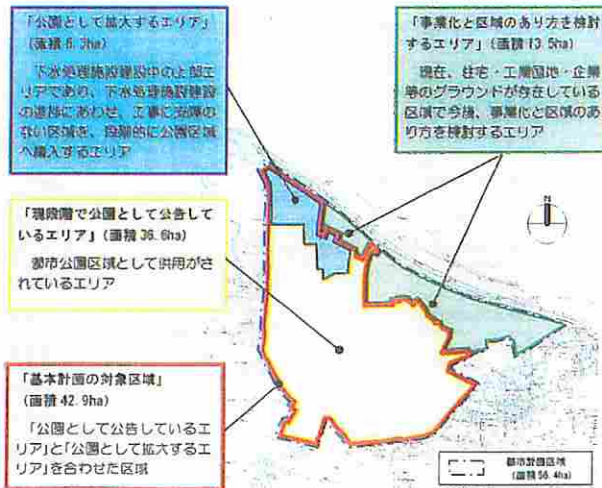
緑と水にすいて再整備を行い、市民が誇れるみどり豊かな公園とする。また災害時の避難場所の確保や周辺植栽による防災機能の向上等安全・安心の場となる公園を目指す。

(2)「川崎から発信するスポーツ・健康づくりの拠点としての公園」

- ① 等々力緑地周辺のまちづくりや道路状況などを考慮し、正面広場をメインエントランスにするとともに、サブエントランスも考慮した整備をすすめること。
  - ② 大規模施設については次の通り整備を進めること
    - 硬式野球場はおおむね現位置、陸上競技場は基本的に現位置とすること。
    - 硬式野球場は収容人員1万人程度とし検討していく。
    - **陸上競技場(1種公認陸上競技場)**についてはJリーグの試合などを円滑に運営できる施設を前提として収容人員は**3万人程度を基本に、3万5千人に配慮**して検討していく。
    - 補助競技場の質的向上、機能向上。
  - ③ 整備に要する施設の閉鎖期間については可能な限り短縮すること。
  - ④ **陸上競技場**、硬式野球場は一つの競技に特化せず**多目的な利用**などを可能とする複合化・立体化を検討し、使い勝手のよい施設をめざすこと。
  - ⑤ **陸上競技場**は、競技やイベントを開催していないときは**市民が利活用**できるようにすること。
  - ⑥ 民間活力を導入し、多面的に運営が可能な施設の整備について検討すること。
- (3)「多様な交流を生み出す場となる公園」  
 スポーツや文化・芸術などの拠点として魅力を高め、周辺まちづくりや地域との連携や情報の発信などにつながる公園をめざす。

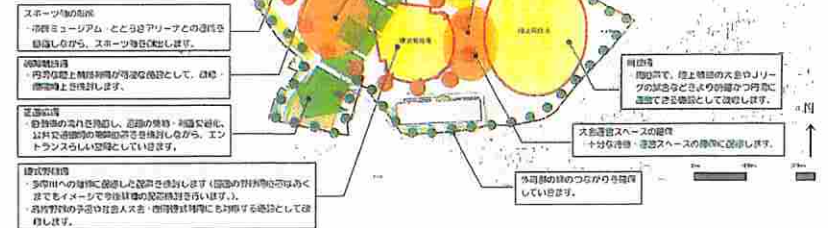
□ 基本計画の考え方

- ・ 将来的に6.3ha公園が拡張される予定(H36年か)
- ・ 基本計画の対象区域は拡張部分も含め42.9ha(图中、赤ライン区域)



□ 配置イメージ

- ・ 陸上競技場は現位置、野球場は若干東に移動、正面広場から多摩川への軸線を確保。
- ・ プールについては記述なし(野球場新設位置と干渉)、親水ゾーンあり。
- ・ 陸上競技場西側の敷地内通路は見直し、待機・運営スペース、賑わいと憩いの場を確保。



その他、主な施設についての概要

- ・ プール 児童の利用を主として、じゃぶじゃぶ池など通年利用の親水施設への変更も含めて検討  
 → 通年利用の親水施設とは、建物ではなく親水外構ゾーンのイメージが。
- ・ 正面広場 公園のメインエントランスとして、アクセスを考慮した整備 → ペDESTリアンデッキのイメージが。
- ・ 釣りの水質改善、子供の遊び場整備、広場・オープンスペース・駐車場を整備 等

(2)計画地概要

1	住所	川崎市中原区等々力1-1
2	用途地域	第一種中高層住居専用地域
3	防火地域	指定なし
4	高度地区(絶対高さ制限)	第2種高度地区(絶対高さ15m、北側:真北方向水平距離の1.25倍+7.5mの高さ)
5	法定建ぺい率	60%
6	都市公園区域内の建築可能面積	公園敷地面積の12%
7	法定容積率	200%
8	日影規制	高さ4mにおいて、10mライン-3H・5mライン-2H
9	その他	多摩川風致地区(特別地区)

(3) 高度地区(絶対高さ制限)について 一計画地概要4

等々力緑地は第2種高度地区に該当し、絶対高さ制限 15m、および北側高さ制限に該当する。但し高度地区高さ制限については許可による特例がある。以下にその条文を示す。

<p>一川崎市都市計画高度地区の変更(川崎市決定)ただし書きより抜粋 次の各号のいずれかに該当する建築物については上記の制限は適用しない。</p> <p>(1) 都市計画において決定した一団地の住宅施設に係る建築物 →× 適用できない</p> <p>(2) 都市計画法第12条の4第1項第1号の規定による地区計画の区域(地区整備計画で建築物等の高さの限度が定められている地区(第1種高度地区及び北側の前面道路又は隣地との関係についての建築物の各部分の高さの最高限度のみが定められている地区を除く。)に限る。)内の建築物で、当該区域の整備、開発及び保全に関する方針並びに地区整備計画に適合したもの →× 市街地再開発に該当し、適用できない</p> <p>(3) 市長が建築基準法施行令第130条の10に定める敷地内空地を有し、かつ、敷地規模を有する敷地に低層住宅に係る良好な住居の環境を害するおそれがないと認める建築物でその高さが12メートル以下のもので →× 適用できない</p> <p>(4) 市長が建築基準法施行令第136条に定める敷地内空地を有し、かつ、敷地規模を有する敷地に総合的な設計に基づき支障がないと認め、建築審査会の同意を得て許可した建築物 →○ 総合設計制度 適用可能</p> <p>(5) 市長が公益上、建築物の用途上又は周囲の状況によりやむを得ないと認め、建築審査会の同意を得て許可した建築物 →○ 建築審査会 適用可能</p>
---

本計画においては(4)川崎市総合設計制度、(5)建築審査会の同意による適用除外が考えられる。

(4) 都市公園区域内の建築可能面積について 一計画地概要 6

等々力緑地は都市公園に該当し、都市公園法で定める規定に合致する必要がある。

一都市公園法より抜粋

- 一の都市公園に公園施設として設けられる建築物の建築面積の総計は、当該都市公園の敷地面積の百分の二をこえてはならない。但し政令で定める特別の場合においては、政令で定める範囲内でこれをこえることができる。(都市公園法第4条)
- 運動施設(法第二条第二項第五号の政令で定める公園施設)の場合は、百分の十を限度とする。合計すると、敷地面積の百分の十二まで建築面積が確保できる。(都市公園法施行令第6条1項一号)
- 屋根付広場、壁を有しない雨天用運動場その他の高い開放性を有する建築物として国土交通省令で定めるもの(壁を有しない休憩所及び屋根付野外劇場)の場合は百分の十を限度として法第4条第一項等の規定の建築面積を超えることができる。(都市公園法施行令第6条2項) →施工令第6条2項に該当するかは川崎市との協議が必要となる。

	ケース1:公園拡張前	ケース2:公園拡張後(6.3ha 拡張)
①公園面積	366,278 m <sup>2</sup>	429,000 m <sup>2</sup>
②建築可能面積 (①の12%)	43,953 m <sup>2</sup>	51,480 m <sup>2</sup>
③野球場・競技場を除く建築面積	20,223 m <sup>2</sup>	20,223 m <sup>2</sup>
④新設野球場建築面積	3,450 m <sup>2</sup>	3,450 m <sup>2</sup>
⑤新設デッキ建築面積	1,800 m <sup>2</sup>	1,800 m <sup>2</sup>
⑥新設陸上競技場建築可能面積 (②-③-④-⑤)	18,480 m <sup>2</sup>	26,007 m <sup>2</sup>

ケース2については公園が拡張されることが前提条件となり、拡張時期が確定していないことから、本計画ではケース1の場合について検討を進める。

※ 川崎市等々力緑地再編整備基本計画において、プールの取りやめが推測されるが、附帯施設の建築面積についてはおおよそ700㎡前後(地図・地形図からの超概算)と想定され、比率として小さいため検討には加味しない。

(5) 風致地区について 一計画概要9

風致地区内で、建築物や工作物の新築、宅地の造成など風致の維持に影響を及ぼす行為をしようとする場合は、土地の風致を維持し、また自然と調和した緑豊かなまちづくりを進めるため、条例により市長の許可を受ける必要がある。

一風致地区許可基準より抜粋

・特別地区の場合

高さ	8メートル以下
建ぺい率	10分の2以下
壁面後退距離	道路に接する側3メートル以上、その他の部分2メートル以上

但し、川崎市風致地区条例第2条2項において許可を受けることを要しない場合の記述が第2条2項にある。

一川崎市風致地区条例より抜粋

前項の規定に関わらず、同項各号に掲げる行為に該当する行為で、次に掲げるものについては、同項の許可を受けることを要しない。(風致地区条例第2条2項)

1) 都市計画事業の施行として行う行為

2) 国、県もしくは本市又は都市計画施設を管理することとなる者が、当該都市施設又は市街地開発事業に関する都市計画に適合して行う行為

本計画は上記(1)又は(2)に該当すると考えられ、許可を受けることを要しないことが考えられる。

(6) その他建築基準法、川崎市関連条例等について

建物の計画に際し、建築基準法、関連法規、条例の規制に合致する必要がある。以下、代表的な法規制について記載する。

- ・ 建築基準法 →屋外観覧場、1敷地内の用途上不可分な別棟増築を想定
- ・ 川崎市建築基準条例→興行場(屋外観覧場)を想定
- 川崎市建築基準条例第7節興行場に該当する可能性が高い。出口等の前面空地、廊下幅員、階段幅員など客席数に応じた幅員が必要になる。客席数が多いため、階段幅員等が非常に大きくなる可能性がある。そのため、避難安全検証法を用い、規制を緩和する前提で検討を進める。
- ・ その他関連法規、条例抜粋
- 下記のような関連法規(抜粋)があり、法規制対象に該当するか今後確認を行う必要がある。

都市公園法	景観区域内の行為の制限に関する届出
都市計画施設の区域内の建築制限	屋外広告物法および川崎市屋外広告物条例
川崎市風致地区条例	CASBEEに関する届出
開発行為の許可(協議のみの可能性有)	ハートビル法、福祉のまちづくり条例
消防法	廃棄物保管施設の設置指導
火災予防条例	駐車場法(路外駐車場の場合)
興行場法	建築物の新築又は増築の場合の駐車施設の附置
ビル管法	自転車等駐車場の設置に関する基準
省エネ法	埋蔵文化財
大規模小売店舗立地法(1000㎡を超える大規模小売店舗を設置した場合)	中高層建築物等の建築及び開発行為に係る紛争の調整等に関する条例

## すべての川崎市民を豊かにする“スマイル・スタジアム”

「観やすく」「使いやすく」、そしてまた地域のランドマークに相応しい「美しさ」を備えたスタジアムを実現します。また川崎市のスポーツ拠点となる安全で快適な環境を整え、かつ老若男女すべての人々が試合日以外でも憩え、活用できるスタジアムを目指します。

### □ 楽しく快適で迫真性のあるスタンド

- ・最後列でもピッチに近い2段式のコンパクトなスタンド
- ・さらに高い臨場感のある可動席の採用
- ・屋根に覆われたスタンドと連続したコンコース

### □ すべての人が使いやすい安心・安全な施設

- ・障がい者、高齢者、ファミリー層、キッズなど多様な客層が使いやすいスタンド
- ・段差のないコンコース、わかりやすいサインなどのユニバーサルデザイン
- ・避難のしやすいコンコースやスタジアム外周空間

### □ 環境・周辺住民にやさしいエコスタジアム

- ・太陽光発電パネルや雨水利用、壁面緑化など環境配慮への取り組み
- ・スタンド・コンコースを覆う屋根等による周辺への音漏れ防止
- ・フィールド照明の屋根設置による光害防止

### □ ゲストをもてなすホスピタリティ

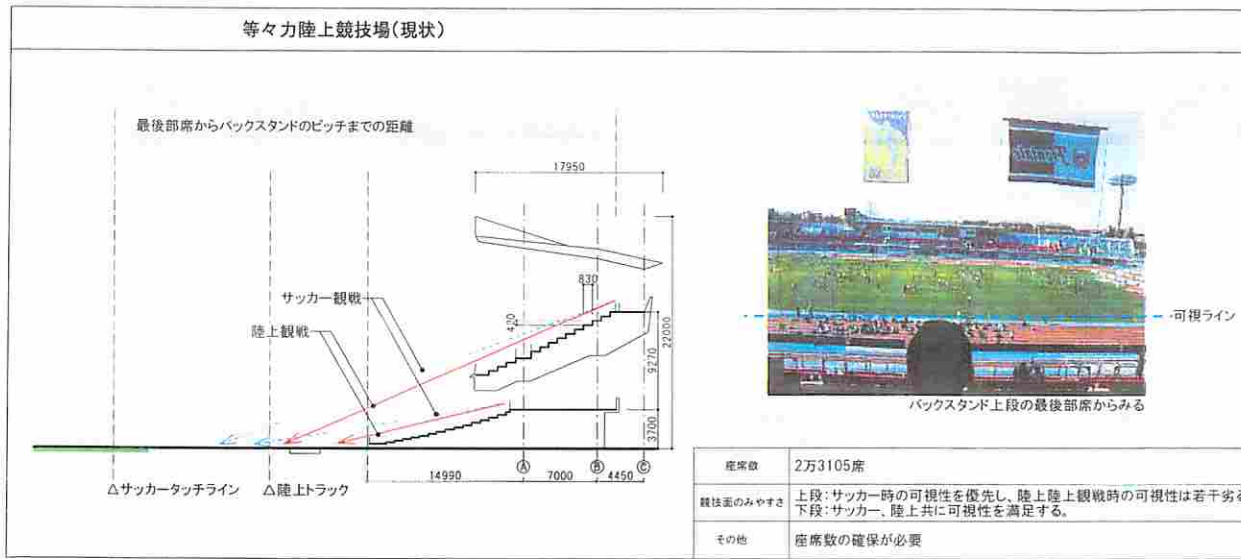
- ・多様な客席形態の提供
- ・場内外のイベントスペース
- ・充実したショップ(温かい飲食、各種サービス)と十分な観客用トイレ

### □ 競技者・管理者・メディアも使いやすい

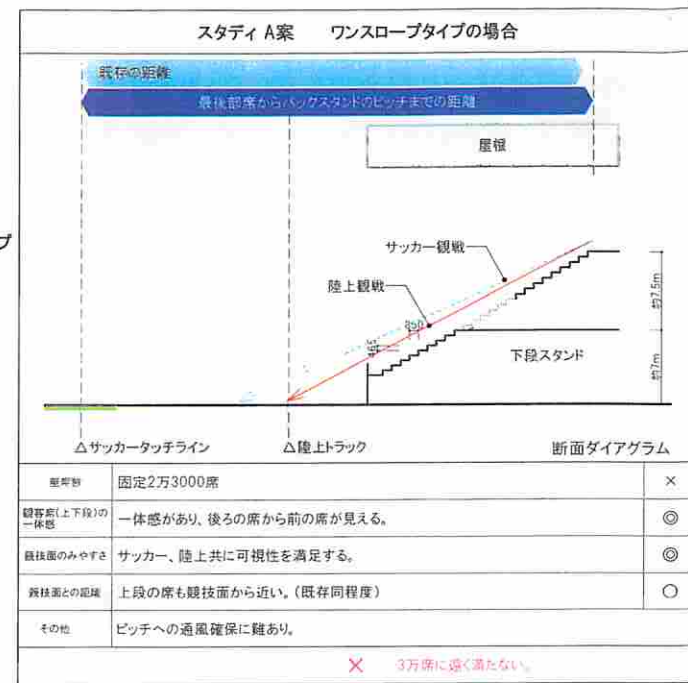
- ・コンパクトで分かりやすい施設構成
- ・良好なピッチコンディションの維持(芝生面日照・通風の確保)
- ・充実した競技者用スペースやメディア専用スペースの確保

### □ 経済性への配慮

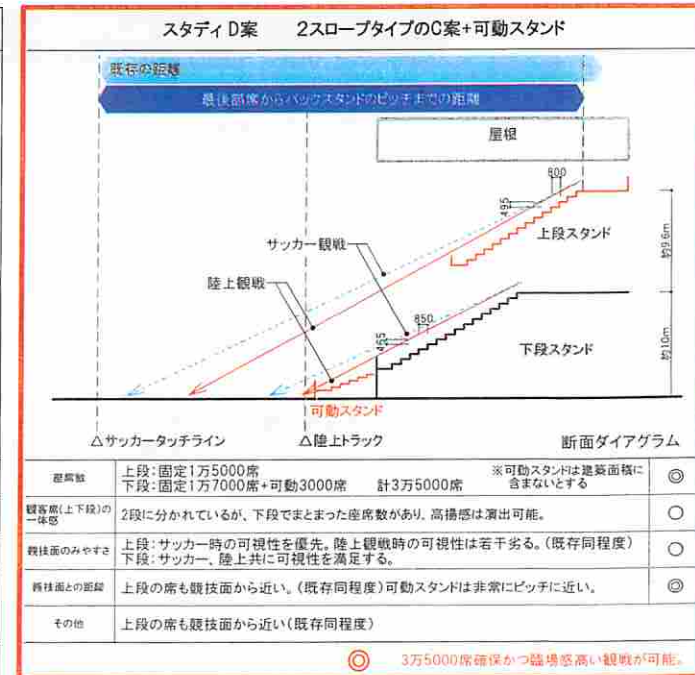
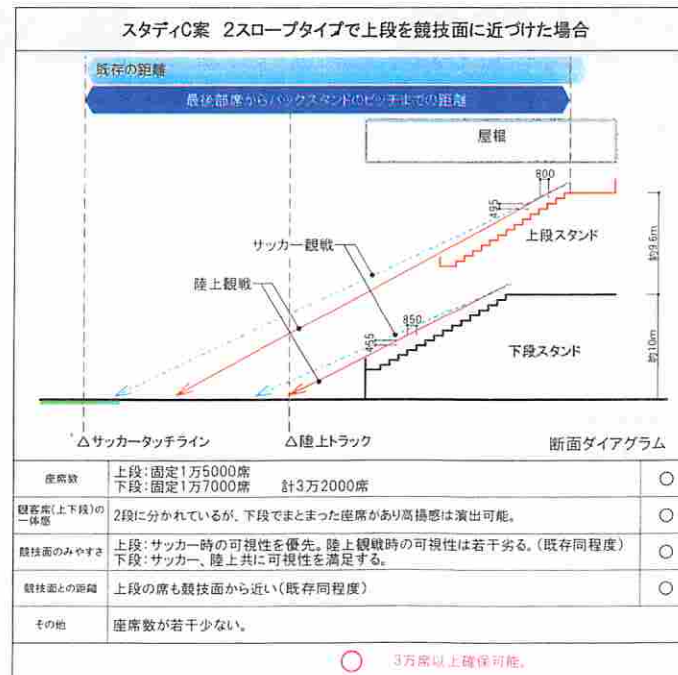
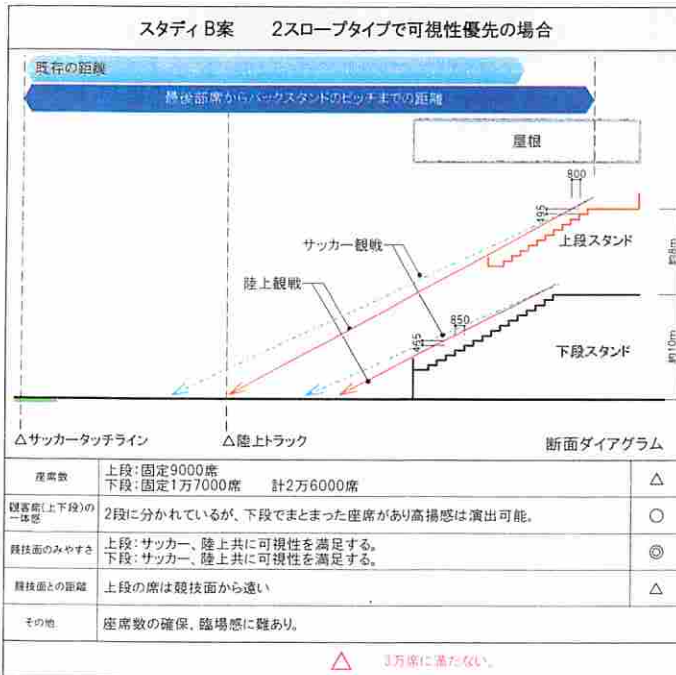
- ・試合日以外も活用できるコンコース
- ・環境技術の導入によるライフサイクルコストの削減
- ・施工効率化による建設コスト縮減、維持管理の容易な諸設備



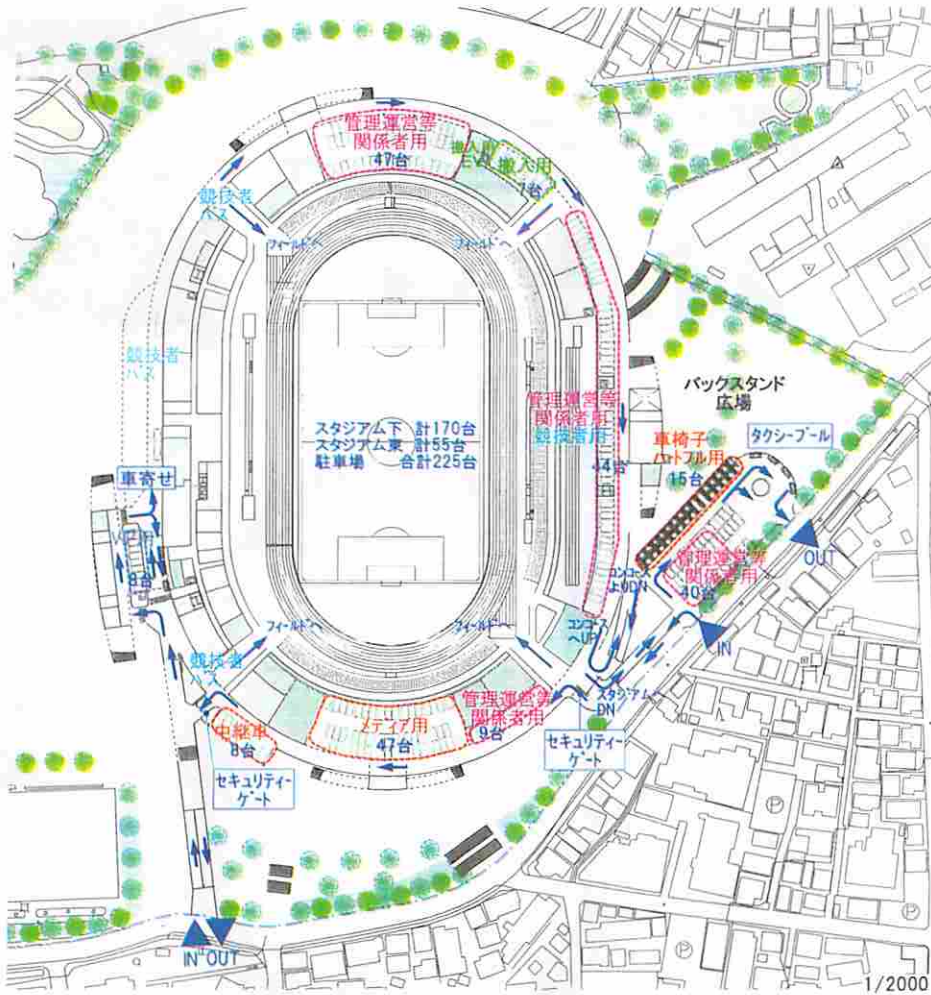
ワンスロープタイプ



2スロープ(2段)タイプ



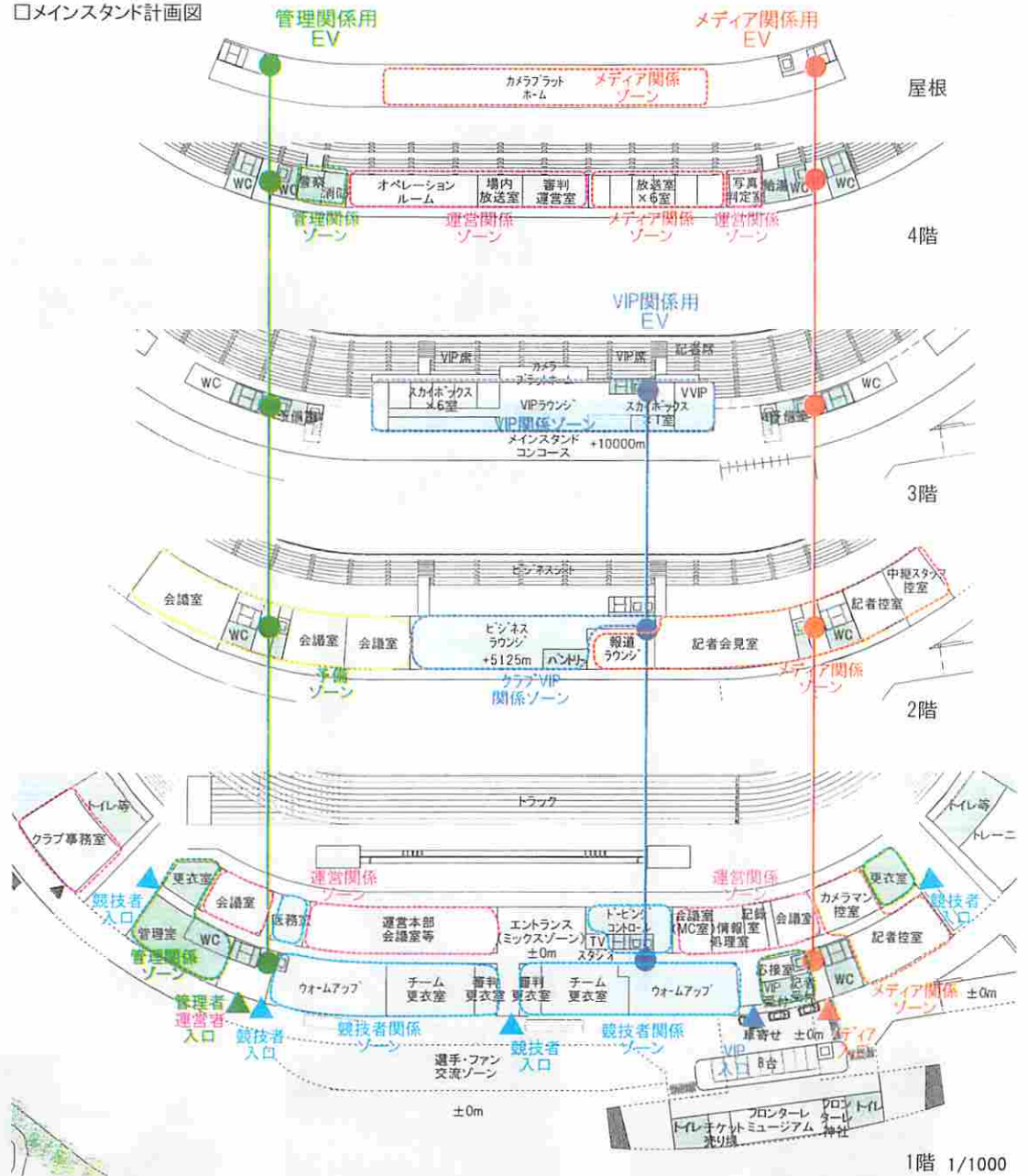
□車輦動線計画図



・車輛出入口は2箇所確保し、入退場をよりスムーズにする。スタジアム外周にセキュリティのとれた周回路を設け、利便性の高い計画とする。  
 ・スタジアム東側にタクシープール・団体バス・車椅子駐車場を設ける。スロープをアウェイ側スタンドに寄せて配置し、バックスタンド広場の広さを十分に確保する。メインスタンド側には車寄せを設ける。  
 ・スタジアムコンコースにつながる車両用スロープを設ける。  
 ・[タクシープール][団体バス駐車場][車椅子・ハトフル用駐車場][メディア・放送中継車駐車場][VIP駐車場][管理・運営関係者駐車場][搬入用駐車場]など、利用目的毎にゾーンを明快にして駐車スペースを確保する。  
 ・フィールドへは4箇所のフィールドゲートより入退場可能とする。  
 ・一般用駐車場は現状スタジアム東側に配置されているが、バックスタンド側の人々の溜り空間が不足していることから、緑地内の別ゾーンで確保することが望ましい。

- 車椅子・ハトフル駐車場
- メディア・放送中継車駐車場
- VIP駐車場
- 競技者バス駐車場
- 管理・運営等関係者駐車場
- 搬入用駐車場
- 一般用駐車場
- シャトルバス駐車場
- ← 車輛進行方向
- ▲ 車輛出入口

□メインスタンド計画図



メインスタンド側に管理関係施設、競技者関係施設、運営関係施設、メディア関係施設、VIP・招待施設(ビジネスラウンジ)を集約して配置する。各ゾーンは明確にゾーン分けを行い、それぞれに専用の出入口・動線を設ける。さらに各動線にはそれぞれ専用のエレベーターと階段を配置し、高い利便性とセキュリティを確保する。

## 「多様な観戦スタイルの提供」

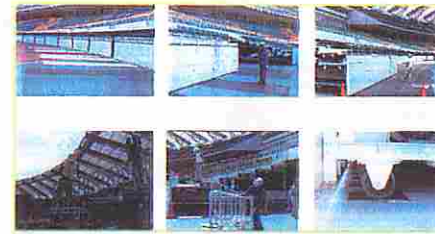
・観客スタンドは、臨場感あふれる2層式スタンドとし、屋根はスタンドを全て覆う構成とする。  
 ・下層メインスタンドにはVIP席、スカイボックス(個室観覧席)、ビジネスシート、記者席をはじめ、カップルシート、メディアシート、ハートフル席(車椅子・ベビーカー利用者用、聴覚障がい者対応観覧席)等を設置し、多様な観戦スタイルを提供する。



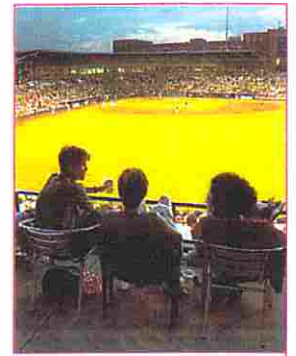
■スカイボックス(味の素スタジアム)



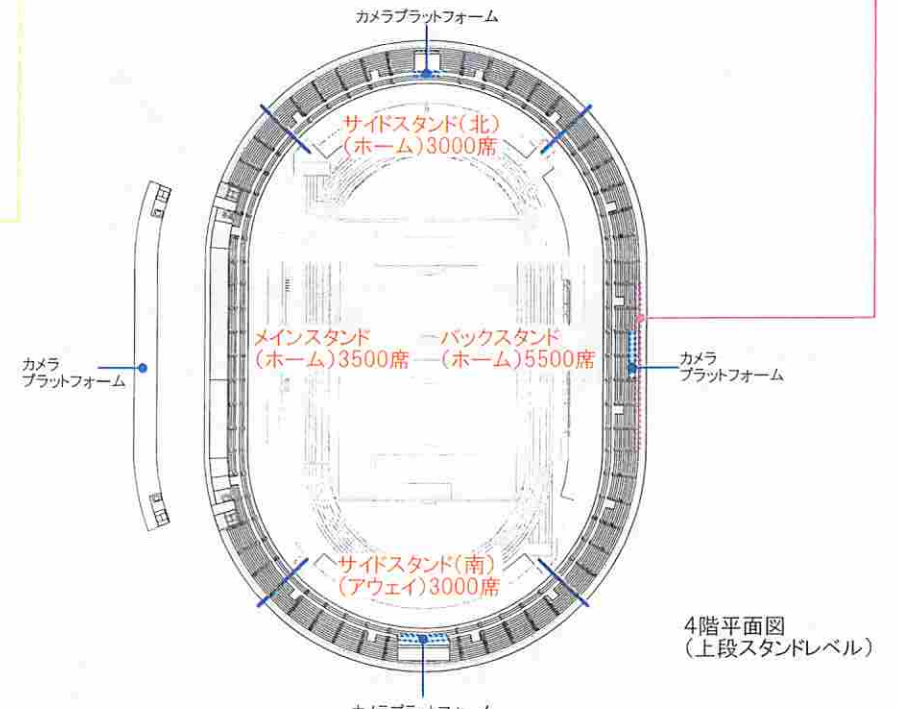
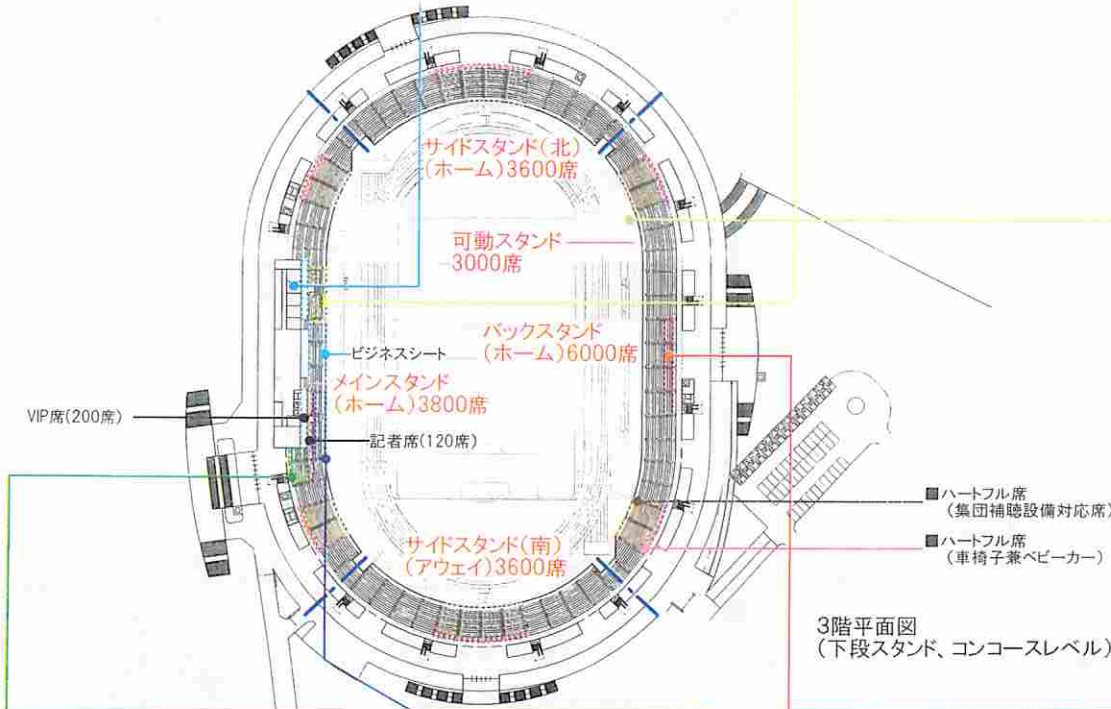
■メディアシート(スカイマークスタジアム)



■可動スタンドのイメージ



■テラスシート(セーフコフィールド・シアトル)



■テーブルシート(フルキャストスタジアム)



■カップルシート(味の素スタジアム)



■スタジアムバー(千葉マリンスタジアム)

座席数	メインスタンド	サイドスタンド(北)	バックスタンド	サイドスタンド(南)	計
3階	3800席	3600席	6000席	3600席	17000席
4階	3500席	3000席	5500席	3000席	15000席
計	7300席	6600席	11500席	6600席	32000席



# 「多機能・多目的スタジアムの実現」

## 「回遊性のある連続コンコース」

- ・利便性やセキュリティに配慮し、一般客はVIP・招待者、選手・大会関係者、メディア関係などの動線と分離したコンコースを主動線とする。
- ・コンコースはスタジアム全周を周回可能とし、避難時も含めてわかりやすく安全な動線とする。
- ・観客の利便性に配慮し、売店・トイレなどをメイン、バック、サイドスタンドにバランスよく配置する。
- ・車輛進入用のスロープを設置し、コンコースの多目的なイベント利用を可能とする。

コンコースを連続させることで  
トイレ・売店の混雑緩和をはかる



■入退場ゲートのイメージ

サービス機能(観客用トイレ・売店)の拡充

- ← 観客動線
- 売店
- 観客用トイレ

幅6.0m以上  
車両乗り入れが可能なコンコース  
(2t車両乗り入れ可能)

車両乗り入れ通行が可能なスロープ

3階平面図  
(下段スタンド、コンコースレベル)

### イベント利用例



■コンコースを利用した自転車試乗会



■コンコースを利用したフリーマーケット



■新車バイク展示会



■新車展示会

□ 環境にやさしいエコスタジアム

既存公園の豊かな自然との調和に加え、新しい時代のサッカースタジアムとして様々な環境配慮を行い、実際的な環境負荷の低減を行いながら、それを人々にアピール出来るような目に見える形での環境技術を取り入れた「エコスタジアム」を目指す。光や風、緑等自然エネルギーを活用したり、環境負荷を低減する技術手法として、以下のような提案がある。

・自然採光

南側屋根の一部及び屋根先端については採光可能な透過材料(ポリカーボネート板等)を採用することにより、明るいスタジアムを実現すると共に、芝生面への日照を確保する。

・自然通風

スタンド下通風口、開放的なコンコース、段床スリットによって、芝生に良好な風環境を確保する。

・雨水再利用設備を設置し、芝生の散水等に使用する。

・緑のネットワークによるヒートアイランドの緩和と視覚効果。

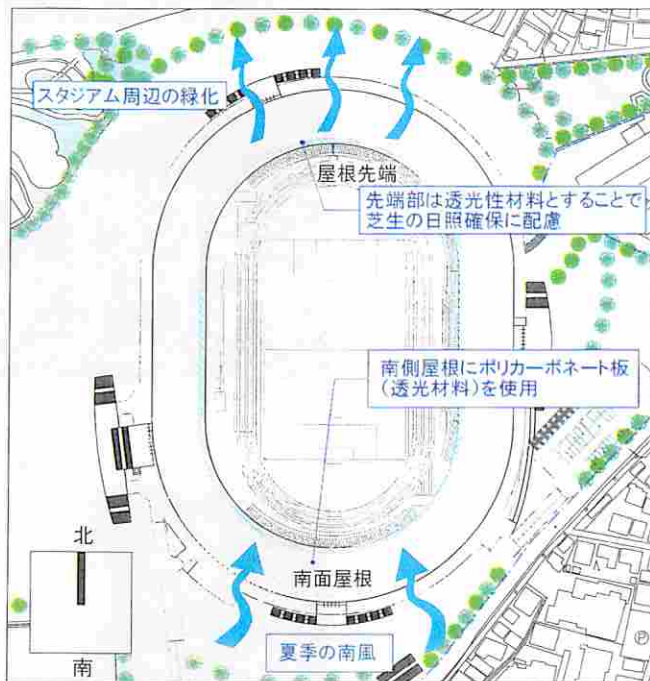


■両サイドスタンド下にシャッターを設置し、風環境をコントロールした事例(フクダ電子アリーナ)

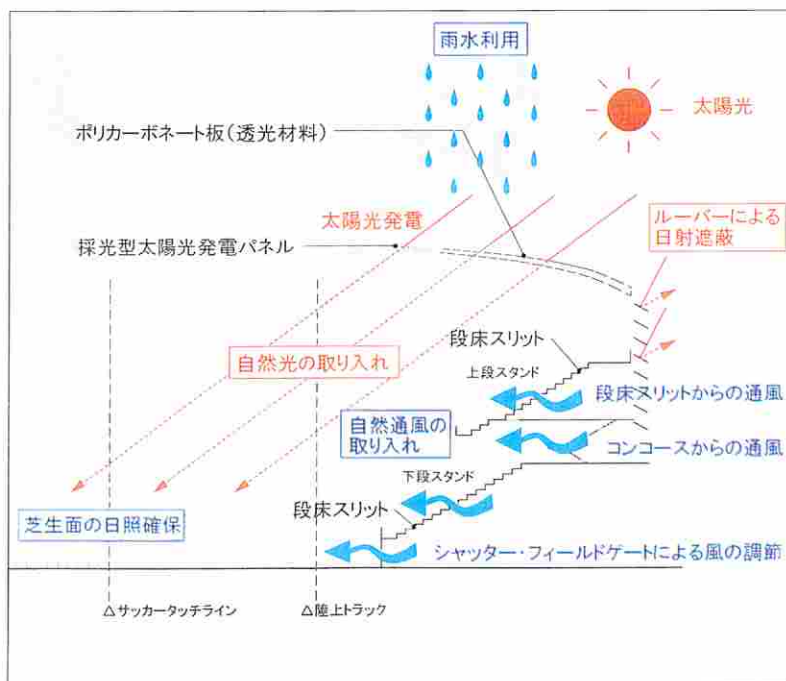
※可動スタンドを採用する場合は採用できない可能性があります。



■スリットを開けた段床の事例(フクダ電子アリーナ)



□ 平面イメージ 1/2500



□ 断面イメージ 1/500



■透光材料(ポリカーボネート板)による日照確保の事例(フクダ電子アリーナ)

□ 環境にやさしいエコスタジアム

- ・日射遮蔽ルーバー  
水平ルーバーによる南面からの日射遮蔽や垂直ルーバーによる東西からの日射遮蔽を行い、温熱負荷を軽減する。
- ・自然素材の積極的利用
- ・クールスポット  
ドライミストなどの採用により、スタジアムを訪れるお客さまに涼を提供する。
- ・太陽光や風力などの発電設備設置による啓蒙作用
- ・採光型太陽光発電パネルの採用  
セルの間から採光が可能な採光型太陽光発電パネルを設けることで、環境配慮を行いながら、芝生面への自然光を取り入れることが可能。
- ・壁面緑化  
壁面緑化を行うことにより、視覚的な環境配慮への啓蒙効果だけでなく、スタジアムを特長づけるデザインとなる。

採光型太陽光発電パネル



■採光型太陽光発電パネルによるスタンド屋根(味の素スタジアム)

日射遮蔽ルーバー



■太陽光発電パネルによる日射遮蔽ルーバー(糸満市庁舎)

自然素材利用



■ウッドデッキのある観覧空間(いわき平競輪場)

クールスポット



■ゲートに設けられたドライミスト(味の素スタジアム)

採光型太陽光発電パネル



■ハイブリッド街路灯



■発電床

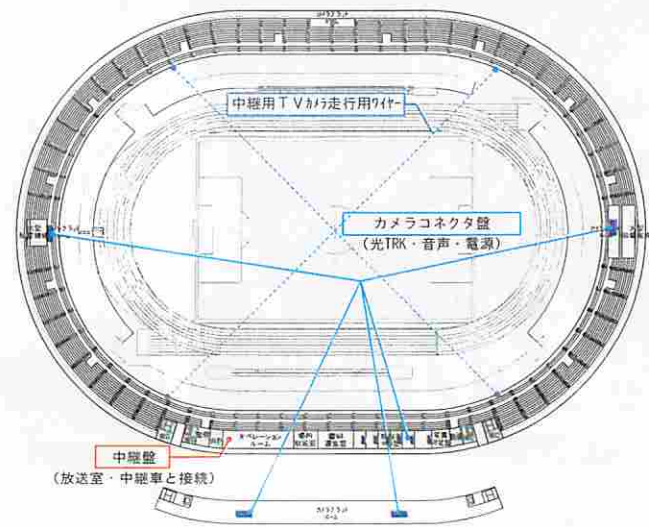
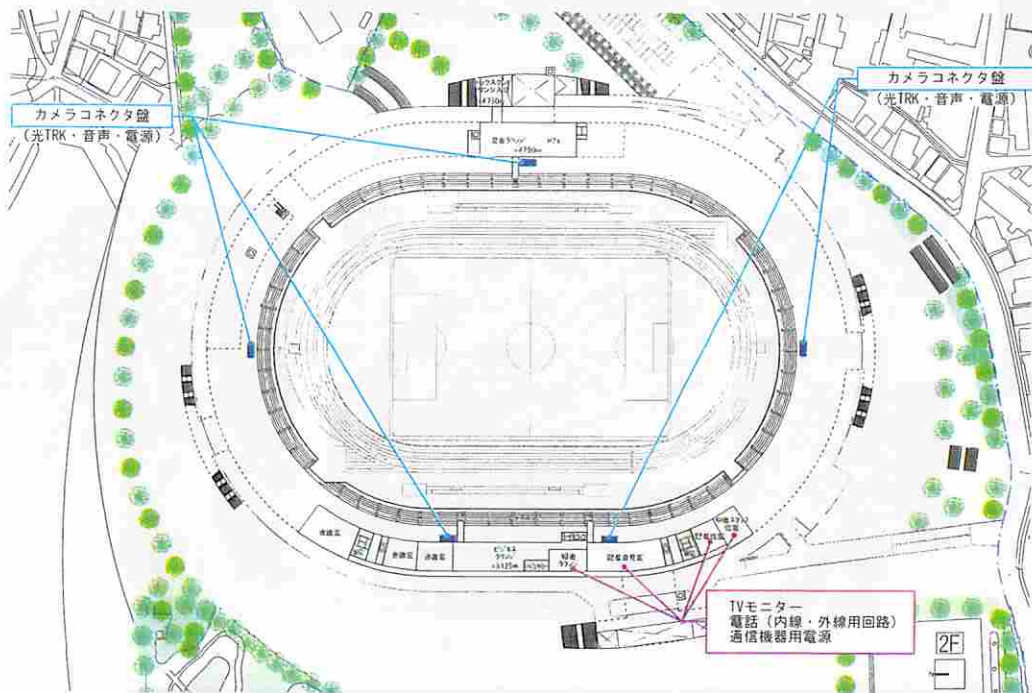
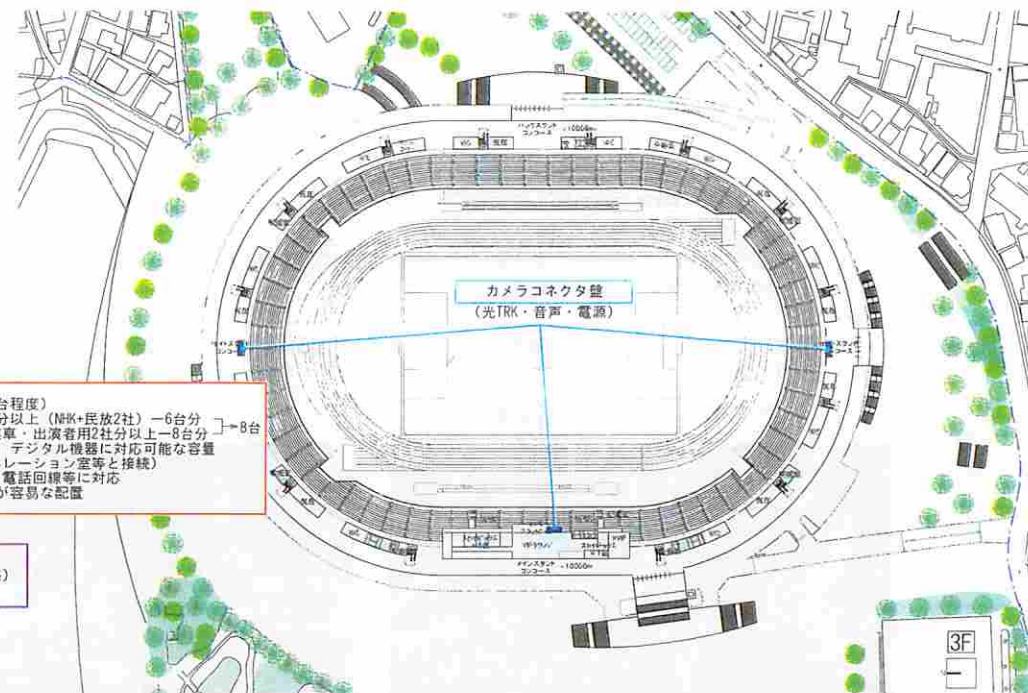
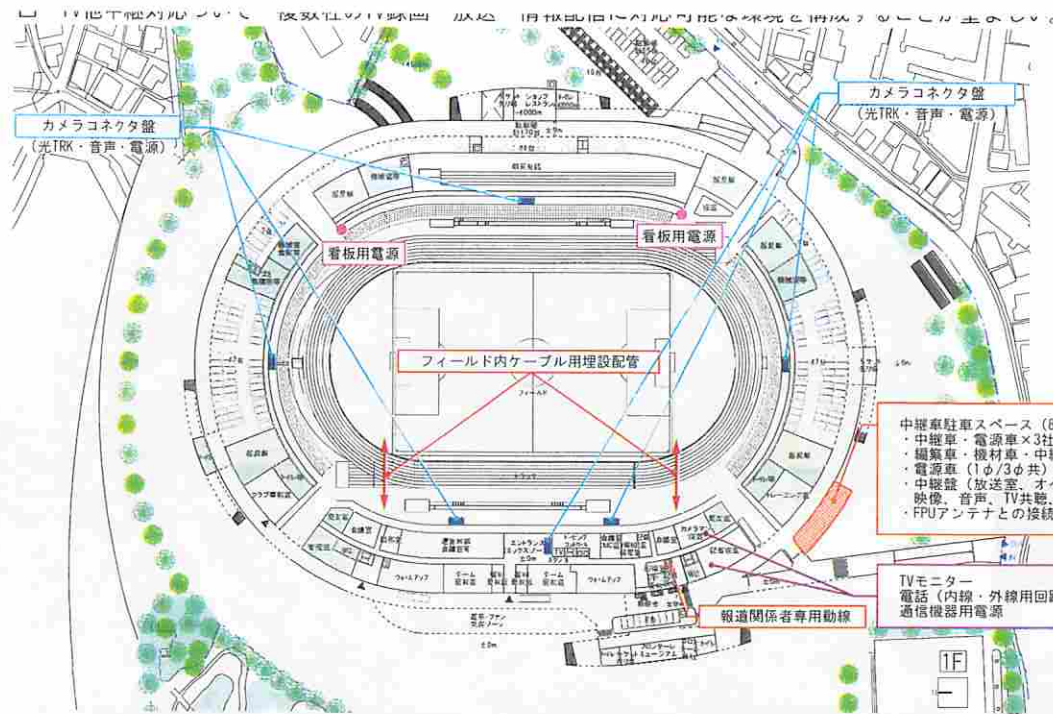
壁面緑化

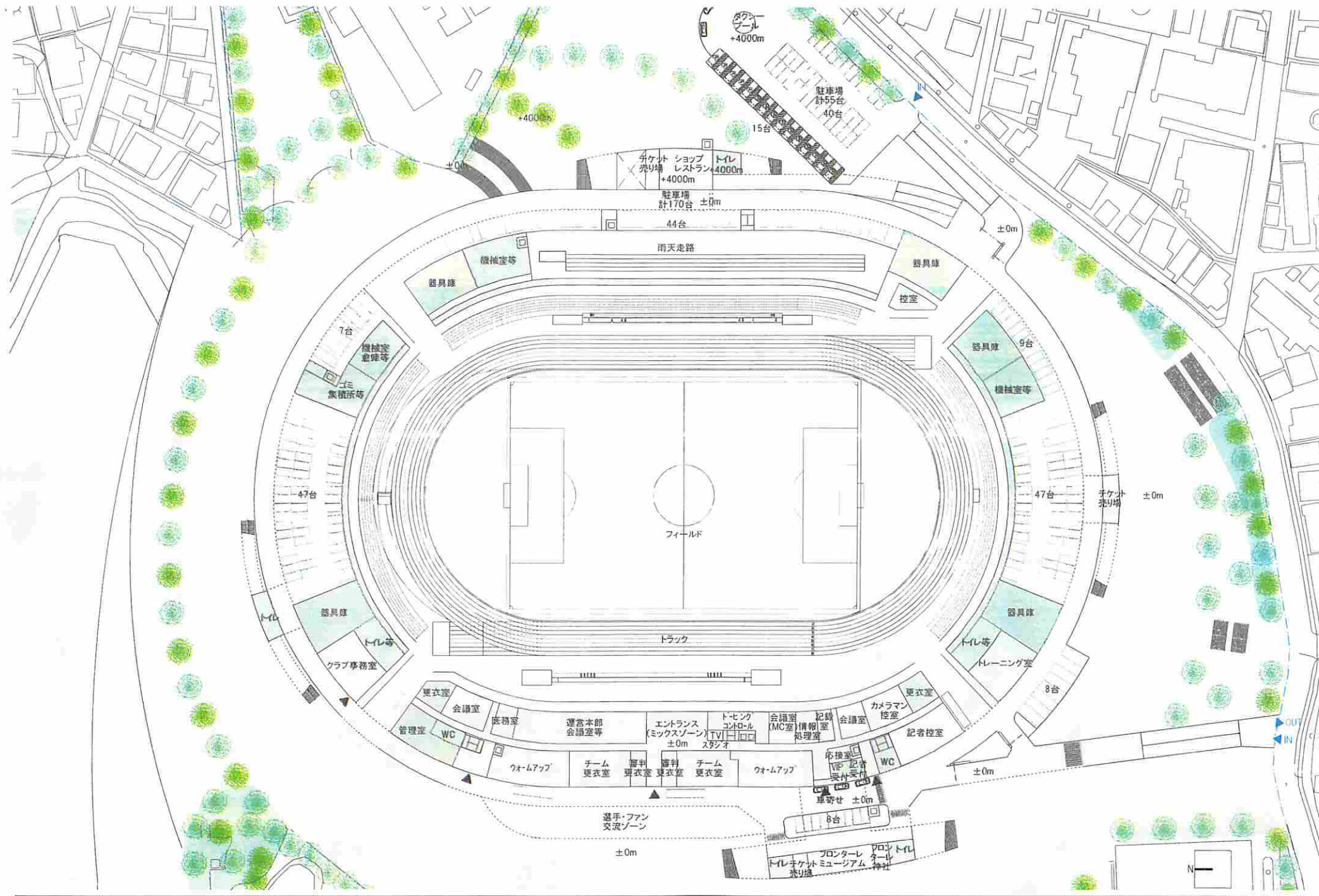


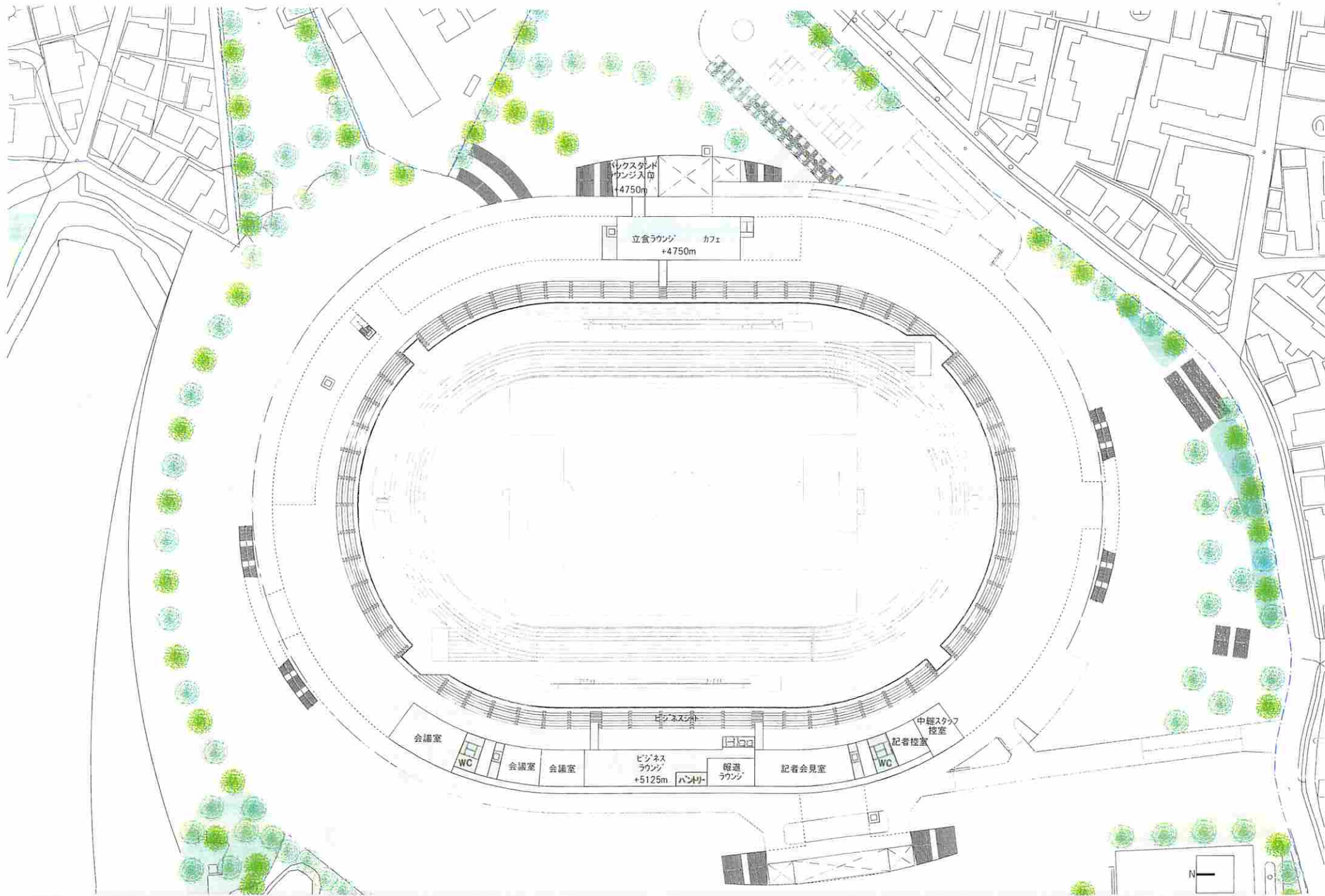
■採光型太陽光発電パネルの庇(新宿御苑)

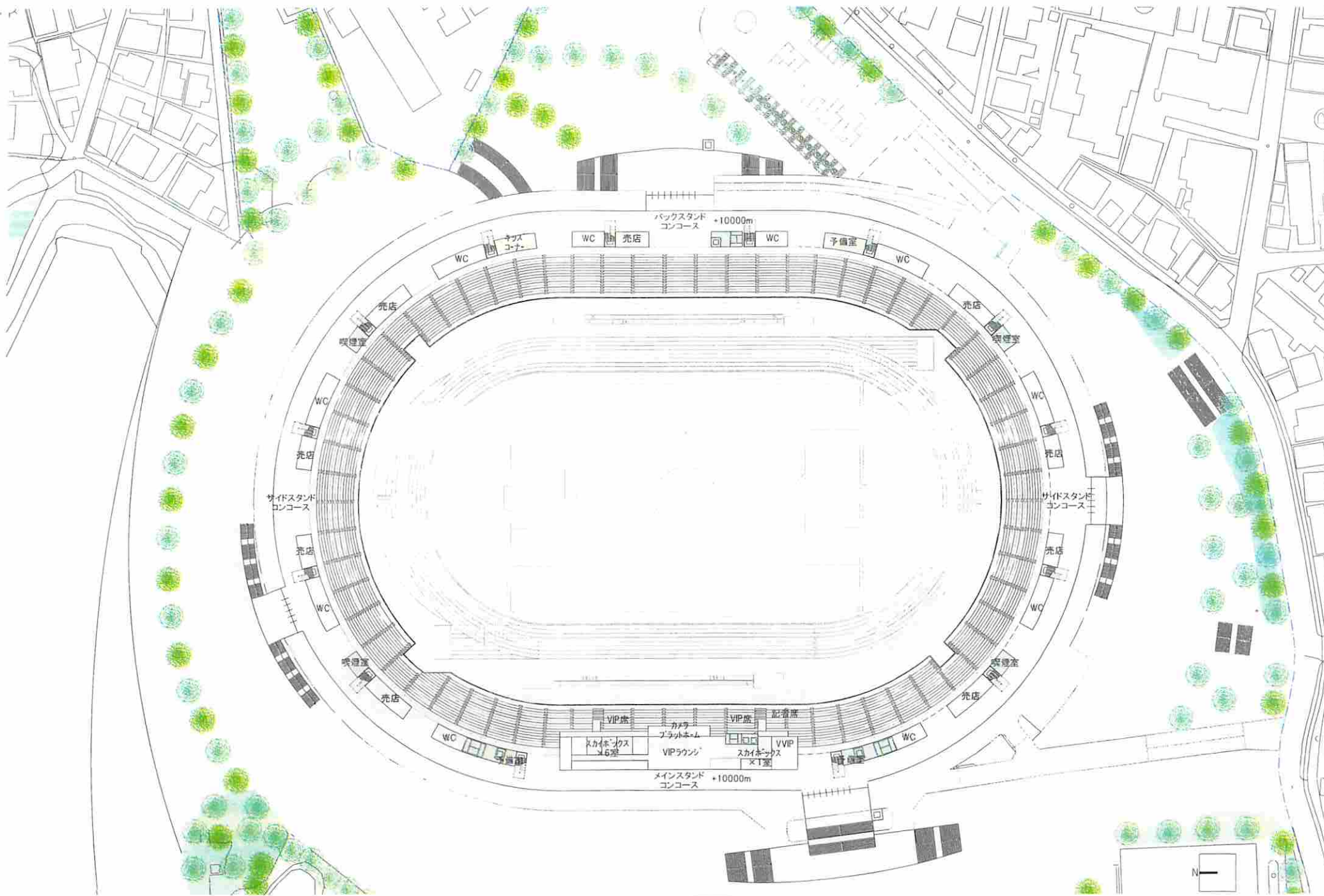


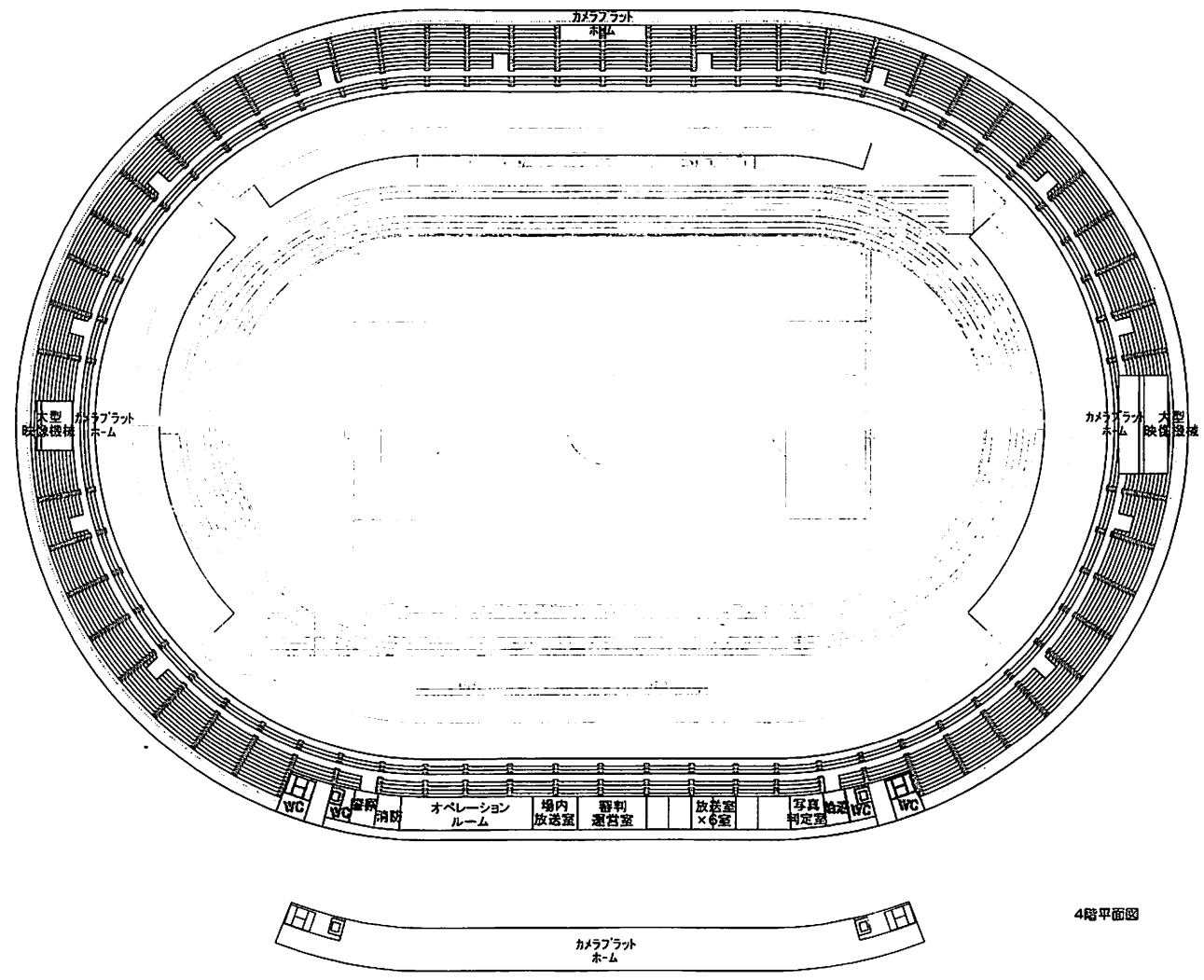
■壁面緑化によるファサード(味の素スタジアム)







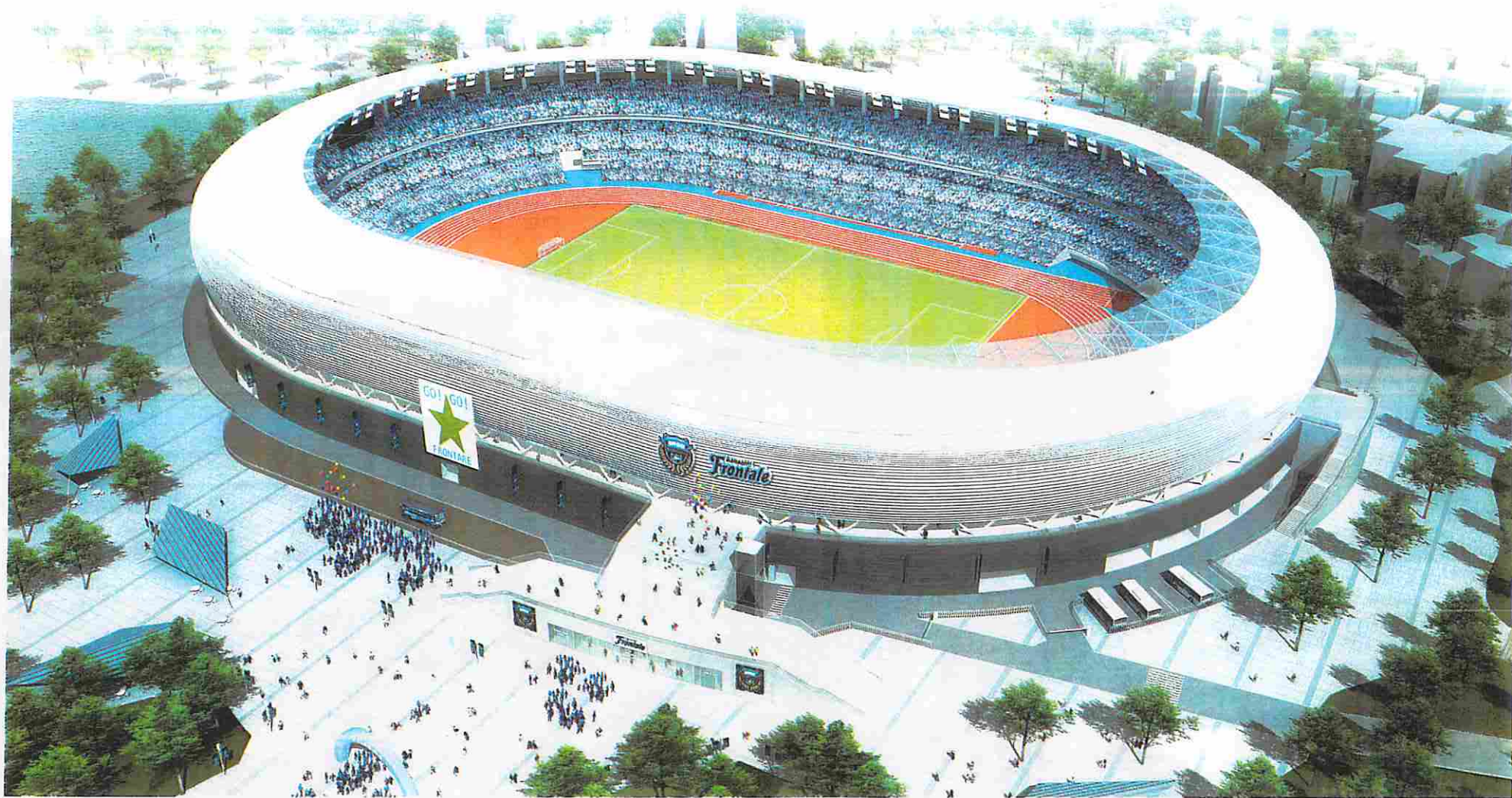


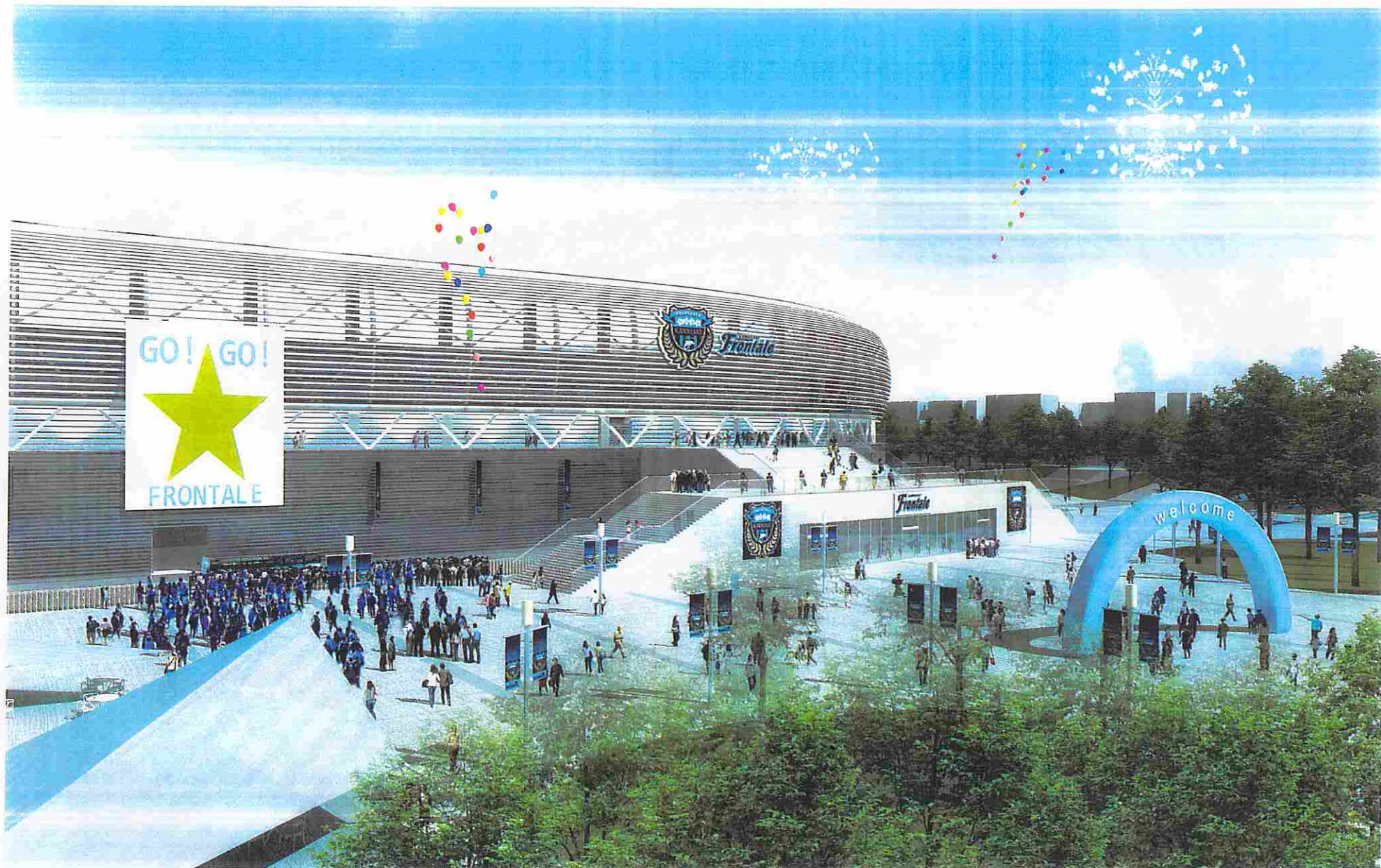


4階平面図

屋上平面図









項目	現状	クラブ基準	Jリーグスタジアム検査要項(2010年)	Jリーグスタジアム検査要項(2020年)	JFAスタジアム標準2010/3月	ACL用スタジアム規則(2011年)	陸上競技ルールブック2010
			(必要度○又はA)	2010年要項を踏まえ、 (2010年との差)についてのみ記載	クラス1新設(○必ず設置 ○設置すべき ▲設置推奨)		新設案1種公開(多目的)
1.特殊ビジョン							
		■複合施設として、試合のない日も使えるものにしていく ■コンコースの試合日以外の開放 ■スタジアム周辺設備の充実(広場への水道、柱、ビジョン設置、野球場壁面への売店売場設置)					
2.コンセプト		■安全、快適、見好き、ホスピタリティ。 ■一体感(設置性) ■エコ ■ローコスト(経済性への配慮)					
3.工期		■試合開催不可能期間は2年が限度					
1.スタジアム規模関連							
入場可能数	25,000人収容	■35,000人収容(家賃及び可動式スタンド) ■座席内を囲うスタンド(ローナー)にも席あり ■座席間にカップホルダー(カテゴリーを分けホルダーあり、なしを分けてもよい) ■フィールドゲート部分に付帯的な可動式スタンドを採用し座席確保を確保	収容人数 J1 15,000人以上(O) J2 20,000人以上(O) ※座席はカウントしない ■観客席 椅子席で10,000席以上(O) ■座席で10,000席以上(A) ■どの座席からもピッチが見える(O) ■座席に番号を付ける(O)	・収容人数 J1 35,000人以上 J2 20,000人以上 ・全ての座席にカップホルダー ・座席に30cm以上の背もたれ ・ヒーティングシステム ・仮設スタンド、芝生常設止 ・横断幕、広告バナー(用意)付けフック ・背もたれ式座席の裏に収納 ・観客の席が前列の椅子に当たらない ・座席巾最低45cm、出来れば47cm以上	25,000人座席(クラス1) (○) メインスタンド、バックスタンド、両ゴール裏の4つの独立したセクション構成が望ましい。入口、売場、トイレ等を各セクションで有している(○)構等の配慮(○) 30cm以上の背もたれ、出来れば肘掛、ヒーティングシステムの導入検討	a) 観客の収容能力に関して、スタジアムの定員は3,000名以上、スタジアム内の各スタンドは、別個の区域に分断可能。 b) 観客用の座席は1人がけで、床などに固定、個々に独立し、体に合わせて整形され、番号が付けられ、壊れにくい不燃性の素材、座席には、座席からの高さ30cm以上の背もたれが必要。 c) 仮設スタンドの使用は禁止。 d) ビジターチームのサポーター a) スタジアムの隣接されたエリアに、スタジアム全体の定員の最低8パーセントを、ビジターチームのサポーター専用と確保。	15,000人以上(芝生席含む) 少なくともメインスタンドは7,000人程度で確保付とする。
観客席							
車椅子席	メインスタンド南北スペース、バックスタンドコンコース	東西南北全スタンドに20ずつ	介助者の椅子+安全の確保(O) 車椅子用スロープ(A)	・ホーム、ビジター分けて設置 ・雨に濡れない ・前列の観客により視界を妨げられない	確保(O)スロープ、トイレ(○)	a) スタジアムには、身体に障害のある観客とその介助者専用の通路と座席を設置。 b) また、身体に障害のある観客が居る区域の付近に、専用の衛生施設および飲食とケータリングの施設を設置。	
VIP席	16席	[2020]に沿う	メインスタンド中央部に座席付き50席以上(O) 80席以上(A)	・J1-200席以上、J2-100席以上 ・ピッチから直接アクセスできる車椅子用スロープ ・TVモニター(共設)、高速インターネット ・車椅子VIP席	質の高い50席(○) VIP席、メインスタンド側中央、ピッチレベルから高度な高層、更衣室、メディア施設、管理オフィスにアクセスできる位置	a) 最低50席のVIP席と、専用のホスピタリティエリア(200㎡)を1つ設置。 b) VIP席はグラウンドスタンドの、2つのベナルチエリアの間のハーフウェイラインにできるだけ近い位置に設置。	
VIP席の後方		[JFA]に沿う	VIP席から直接アクセス可(O)	・VIP席収容人数が入れる広さ ・VIP専用トイレ ・車椅子VIP対応 ・バーカウンター	VIPラウンジ 設置(O) VIP席から直接アクセス。対象人数に比した十分なトイレ、テレビ観戦、電話(外線、内線)、空調設備、ケータリング用EV VVIPラウンジ 設置(クラス1○)VIPラウンジと可動間仕切りで区分。VVIP専用トイレ、ダイニングルーム(25人分の食事)が提供できる)設置(O)		
VIPラウンジ(VVIPラウンジ)							
VIPラウンジパントリー	給湯室	設置、扉閉も	—	・VIPラウンジ、スカイボックス、ビジネスシートラウンジ用のパントリー設置	スタンディングの飲食スペース(O)		
VIP控室スタッフ控室	なし	4.5~6畳、給湯設備あり	—	・設置	—		
VVIP席	なし	40	—	・設置	背もたれ・肘掛(○)可動間仕切り(O)専用トイレ(○)		
スカイボックス	なし	10室	—	・個室ラウンジ+観客席	—		
ビジネスシート	なし	設置	—	・スポンサー取引のための、ラウンジ付	—		
マッチコミンヨナー席	なし(記者席で代用)	MC、アセッサー、副アセッサー、委員長、予備3の7席	メインスタンド中央部に座席付、紙付4名着席、音が聞こえること(O) TVモニター(共設)、LAN回線(A)	・増設可動式とモニタ ・TVモニター(共設)、高速インターネット	—		
記者席	72席 紙付き 電源あり LAN回線はフロントテーブルが仮設	・座席つき ■記者席 ・全ての席が座席等と等し、雨に濡れない場所に設置してある。 ・VIP(VVIP)や審判等と干渉しない ・お客様が記者席に入って来られない様な仕様。(セキュリティ面) ・紙付き席 ・机⇒2人~4人掛け×100以上、PCを広げることのできるスペースがあること ・椅子⇒100席以上 ・LAN回線⇒無線 ・電源⇒2口/1席 ・手元照明⇒1口/1席 収録可能 ・TV中継・試合中観戦できるテレビモニター用ライン	メインスタンド中央部に座席付、80席以上(O) ノートパソコン、ノートが置ける机、電源(O)	・増設可動式とモニタ ・TVモニター(共設)、高速インターネット	100席(クラス1) メインスタンド側中央、記者室、ミックスゾーン、記者会見室と隣りに行き来 デスク、照明、コンセント、LAN 機材が濡れないこと、ワイヤレス通信	一般の人々やメディアから防衛された場所に、3席以上のAFCマッチコミンヨナーおよびAFC審判指導員専用座席付きエリアを設置。 マッチコミンヨナルの専用エリアは、両方のベナルチエリアの間のハーフウェイラインにできるだけ近い場所の、チームと審判のロッカールームへ隣りにアクセスできるところに設置。 以下のものが設置。 ・テーブルおよび椅子 ・試合の生中継映像を受信するテレビモニター ・電源コンセント2口 ・ワイヤレスブロードバンドインターネット接続 ・メディア席 a) 以下の条件を満たすメディア代表者用のメディア席を設置。 1) すべてのエリアは座席付き 2) デスクのない高さ50cm 3) デスク付きの座席50cm、これらの席には電源とインターネット接続を設置。 デスクはラップトップコンピューターとノートが十分置けるだけの大きさ。 4) メディア席は、グラウンドスタンドの中央に設置され、メディアセンター、記者会見室およびミックスゾーンと同じ側に設置。 5) メディア席と、記者会見室およびメディアセンターとの間をメディアが移動するための専用通路を設置。	

その他	サイドスタンド2階、バックスタンド2階	両スタンド全面を覆う屋根(バック側に西日が当たらない)	出来るだけ多くの観客席を覆う(O) 全ての観客席を覆う(A) 屋根斜度設置(O)	全ての観客席を覆うこと ネーミングライツ用スペース 屋根上にTVカメラ設置	観客席全てを覆う(O)	技術研究グループ(TSG)の整備エリア a) AFCが技術研究グループメンバーを指名した場合、スタジアムは公共やメディアから隔離された場所に、6階以上の技術研究グループメンバー専用設備付きエリアを設置。 b) TSGの整備エリアは、両方のペナルティエリアの間のハーフウェイラインにできるだけ近い場所に設置しなくてはならない。また、以下のものが設置。 ・テーブルおよび椅子 ・試合の生中継映像を受信するテレビモニター ・電源コンセント2口 ・ワイヤレスブロードバンドインターネット接続	-
照明	ピッチ1,500L以上	[2020]に沿う	ピッチ内1500L以上、均質(O)	ピッチ内3000L以上、均一 観客席、記者席、広告看板にも照明が届く 色温度5000ケルビン	ピッチ内1500ルクス以上(O) 非常用照明(O) 色温度5000ケルビン以上	a) 色温度でも平均照度1200ルクスを確保。 b) 非常用の場合でも確実に試合を進行できるよう、まったく同等の照度を即座にかつ中断することなく提供可能な、独立した予備電源システムを4個。	1220mの高さで1900Lx フィニッシュライン1500Lx
II 競技用設備							
ピッチ-芝生	ピッチ:105m×68m可能 芝生:107m×70m(ピッチ外周の芝生不足)	観客のための風通しの良い(開閉式の)屋根、試合時は観客、充電等のための閉じる [JFA]に沿う	ピッチ:105m×68m(O) 芝生:ピッチ外周15m以上(緑上採用) 108m×71m以上(O)	-	ピッチ:105m×68m(O) 芝生:(多目的スタジアム) 107m×71m以上(クラス1) 但しチェック数は108m×71m(O)	a) 大会のすべての試合は、FIFAの品質保証に従った人工芝のみ b) 人工芝は次の条件を満たすこと。 i. 必要なら排水システムを待っていること。 ii. 表面は緑色。 c) 競技のフィールドの寸法 i. 長さ:最小100メートル-最大110メートル ii. 幅:最小64メートル-最大70メートル d) 競技のフィールドは、少なくとも平坦 e) 排水システムの設置	インフィールド(芝生エリア) 長さ:108m×68m 最大107m×71mまで保てる 15mm厚-9.1mm
チームベンチ	フロンターレ所有ベンチ	観客納付場所の確保	13人以上(ACLは18人)着席(O) 屋根は観客の視野を妨げない(O) 屋根は透明(A)	-	透明な屋根付13人以上、固定式(O)(クラス1)	最低20名が着席できるスペース、囲い付きのベンチを2つピッチレベルに設置。	-
第4の審判員ベンチ	フロンターレ所有ベンチ	観客納付場所の確保	最低3名、出入りができるスペース(O) 屋根は観客の視野を妨げない(O) 屋根は透明(A)	-	最低3名、出入りができるスペース 屋根は透明(O)	最低3名が着席できるスペース、囲い付きのベンチを1つ設置。	-
その他設備等	大型映像装置(立割1基) デジタル表示時計(立割1基) ゴール、壁のみ1基 場内放送システム スコアボード(両側1基)	・大型映像装置(ホーム側、アウェイ側に計2機) デジタル表示時計(ホーム側、アウェイ側に計2機) ゴール(規定あり)の収納場所の確保(手荷物を含め) 目標線ポール(トーン)はVIP席から視認できる位置、最低5本	・ゴール(O)規定有り ゴールネット(O)規定有り ・場内放送システム:全てのエリアに聞こえるシステムを備える(O) チーム更衣室などに一般放送が入らないように切り替え可。(O) ・スコアボード:J1大型映像装置、J2メンバー提示可能な電光掲示板(A) ・時計(O)規定有り ・メンバー掲示板(スコアボード兼用可)(A) ・目標ポール又はトーン:5本以上、VIP席より視認(O)	・大型映像装置2機設置 ・時計は秒まで表示	ゴール(規定有り)(O) ゴールネット(規定有り)(O) 大型映像装置は場内放送、出場メンバー表示(O) 場内放送システム(O) 目標ポール(トーン)VIP席から視認できる位置、最低5本(O)	ゴールポストとクロスバー アルミニウムまたは鋼製の最低で円または楕円形。 ゴールポストとクロスバーは国際サッカー評議会(IFAB)によって交付された競技規則に準拠。 スタジアム内に、状況により必要となった場合に簡単に設置できるスペースを準備。 時計 スタジアムには、試合中の競技時間を表示する時計を設置。(規定あり)	電光掲示板を設置が望ましい
III 施設スペース							
共通事項	各居室に「テーブル、椅子、電話、携帯電話充電確保」あり エアコンは北側・中央は個別空調あり、南側は大型一括空調	観客席数増 観客席の充実 観客席LAN 観客席分断できる階段、EV 観客席の空調	※以下、各居室には「テーブル、椅子、電話、エアコン、携帯電話充電確保、電話(外線・内線)テレビモニター、高速インターネット環境、共有記録、時計」を原則設置	-	150㎡×2室(4室を確保)但しチェック数は120㎡(O) フィールドへ直接、観客、報道関係者から解放 ロッカー・椅子、25人分 冷蔵庫、約1トーン、電話(外線、内線)、デスク、椅子、マッサージ台、温水機	a) 最低2つのロッカールームが必要。 b) 最低でも以下のものを設置。 i. シャワー4つと便座付き個室トイレ1つ ii. 最低30人が一緒に着席できるスペースと椅子30脚 iii. マッサージ台1つ iv. マーカーベンチとレシーパー付きタクトクスボード1台 v. 冷蔵庫1台 c) チームのロッカールームはエアコン付き d) チームがロッカールームから競技エリアへ移動するため、安全を確保された防犯された直通専用通路を確保。 e) チーム用の通路を共有できるのは、AFC代表団のみ。	300人以上を収容し得ること
チーム更衣室	更衣ブース18名 温水シャワー、マッサージ台、洋式トイレ、顔付洗面台、ホワイトボード 各更衣室からピッチまで最短距離	各チーム更衣室 ・個別エアコン ・浴槽・ジャグジー ・VIP(VVIP)、メディア、サポーターと交わらないでスタジアムへ入れる駐車場からの接続	2室、更衣25人(ACLは29人)以上、120㎡以上(O) 温水シャワー、マッサージ台、洋式トイレ、顔付洗面台、ホワイトボード(O) 各更衣室からピッチまで最短距離(A)	・チーム用駐車場から壁とも交わらず直接アクセス可	更衣室に隣接する場所に設置	-	-
マッサージルーム	路上ロッカールームを利用	[JFA]に沿う	-	-	更衣室に隣接する場所に設置	-	-
選手シャワー室・トイレ	温水シャワー12基	[JFA]に沿う	温水シャワー8基以上(O)	-	更衣室に隣接、更衣室から直接安全にアクセス可能 温水シャワー、顔付洗面台、スライク洗浄用シンク、トイレ	浴室・シャワー室は男女各2室以上	-
審判更衣室	4人更衣設備、7人以上収容可能、温水シャワー、洋式トイレ、顔付洗面台、冷蔵庫(サッカー協会所有)	[JFA]に沿う	4人更衣設備、7人以上収容可能、チーム更衣室から短時間で設置、温水シャワー、洋式トイレ、顔付洗面台、ホワイトボード、冷蔵庫(O)	2人以上の更衣設備を備えた第2審判更衣室(温水シャワー、洋式トイレ付) ・フィールドへ直接アクセス、一般観客とメディアが立ち入ることの出来ない場所	24㎡×2室(4人用2室)(O) 4人分のロッカー、ベンチ、テーブルと椅子、マッサージ台、冷蔵庫、ホワイトボード、電話(外線、内線)、テレビ 温水シャワー、顔付洗面台、トイレ、スライク洗浄用シンク メインスタンド側、フィールドへ直接、観客、報道関係者から解放	a) 審判用最低でも以下の設備を備えたロッカールームを確保。 i. シャワー1つと便座付き個室トイレ1つ ii. 最低5名が着席できるスペース iii. テーブル1台と椅子5脚 iv. 冷蔵庫1台 b) 審判のロッカールームはエアコン付き。 c) スタジアムは、審判がロッカールームから競技エリアへ移動するため安全を確保された防犯された直通専用通路を確保。 審判用の通路への通路を共有できるのは、AFC代表団のみ。	-
審判シャワー室	温水シャワー	[2010]に沿う	温水シャワー(O)	-	設置	-	-

1	室内練習場(ウォームアップエリア)チーム用	両チーム同時、別個に使用 人工芝	両ウォームアップスペース 人工芝マツ(因すぎないもの) 【JFA】に沿う	両チーム同時、別個に使用(O) 人工芝(A)	各200㎡以上	100㎡×2箇所(○)芝生(人工芝可)(○) チーム更衣室の裏庭、人工芝(裏内の場合)、暖房・空調 設備、ボール衝壁対応	a) 控え室専用のウォームアップエリアは、タッチライン沿 い、またはゴール後ろの広告ボードの後ろに高調する。
		なし	審判室棟、80㎡程度	審判専用用(A)	—	—	—
2	室内練習場(ウォームアップエリア)審判用	なし	審判室棟、80㎡程度	審判専用用(A)	—	—	—
		13人収容可能、応接セット、TVモニター録音再生装置 チーム更衣室、審判更衣室の近く	【2010】に沿う	13人収容可能、応接セット、TVモニター録音再生装置 (O) チーム更衣室、審判更衣室の近く(O)	ACLではスクリーン、プロジェクター	24㎡×1室 チーム更衣室と審判更衣室の近く、審判更衣 室に直接アクセス可 13人収容 デスク、椅子、ロッカー、電話(外線、内線)(O)ファックス、 コピー機、テレビ、トイレ、股付洗面台(審判更衣室と共用 可)	a) AFCマツコミユニオンを含むAFC代表団用に、5名以 上が最低でも1室(テーブル1台と椅子5脚) 大会の換気設備については、AFC代表団用に、5名以上が 最低でも1室(テーブル1台と椅子5脚) AFCのオフィシャルパートナー用に、5名以上が最低でも 1室(テーブル1台と椅子5脚)
3	マッチコーディネーションミー ティング室 (コミンショナールーム)	—	—	—	—	—	—
		医務室で代用	【JFA】に沿う	チーム、審判更衣室のそば、メディアが近づけないように する(O) 待合: 8人以上収容、応接セット、TV、録音再生装置、冷蔵庫 (O) 検査エリア: 検査機、股付キャビネット、検査室に直接アク セスできる場所に温水シャワー、トイレ、股付洗面台(O)	—	24㎡×1室(○) チーム更衣室と審判更衣室の近く、暖房とメディアの立ち 入ることのできる場所に、専用のエアコン付きドーピング コントロールルームを設置。 待合室: 作業室に隣接、8人分の椅子、冷蔵庫、テレビ 作業室: デスク、椅子4脚、股付洗面台、電話(外線、内線) 股付キャビネット トイレ: 作業室に隣接、2人分	a) チームのロッカールームから近く、公衆やメディアが立ち 入ることのできる場所に、専用のエアコン付きドーピング コントロールルームを設置。 b) 部屋の面積は少なくとも20㎡で、待合室、検査室およ び、浴室が付属したトイレエリアがすべて取り合って構 成。検査室は検査室の一部を占め、直接接続しているこ はどのエリアをパーソナルで分別してもかまわな い)、8名用の十分な椅子、テレビ、冷蔵庫。 c) 検査室には、最低でもテーブル1台、椅子4脚、水通付 のシンク、暖房キャビネット、およびトイレを設置。 d) トイレエリアは検査室内にあるか、または検査室に隣接 していて外から見られずに検査室へ直接入れ、便座付きト イレと水通付きのシンクを設置。
4	ドーピングコントロール室	—	—	—	—	—	—
		ホーム劇のみ	【現状】程度	—	—	—	—
5	監督室	—	—	—	—	—	—
		なし	—	—	—	—	—
6	ウェイトトレーニング室	—	—	—	—	—	—
		バックスタンド側	【1楼】に沿う	—	—	—	—
7	雨天差廊	—	—	—	—	—	—
		TV(フロントレール所有)、コピー機(フロントレール所有)、 FAX(フロントレール所有)、 場内放送室、大型映像装置、記録室、第4の審判員ベ ンチとの連絡はフロントレール所有トランシーバー利用	【2010】【JFA】に沿う	100㎡以上、TV、監視カメラモニター、 高速コピー機、FAX(O)チーム更衣、審判更衣への連絡 装置(A) 場内放送室、大型映像装置、記録室、第4の審判員ベ ンチとの専用インカム(A)	—	200㎡以上(○)椅子、空調設備、電源、電話回線(○) メインスタンド側、ピッチへアクセスしやすい場所 監視システムのオペレーション、チーム更衣室と審判更衣 室をつなぐブザー 非常時に場内放送システムに優先して割り込める設備	a) 監視者がスタジアム内部全体を監視するテレビ監視シ ステムおよび遠隔設備付きのコントロールルームを設置。
8	運営本部室	—	—	—	—	—	—
		ピッチ全体を見渡せる個室 2人が並んで座れる TVモニター、録音再生装置	【JFA】に沿う	ピッチ全体を見渡せる個室(O) 4人が並んで座れる(O) LAN回線、TVモニター、録音再生装置(O)	—	16㎡×1室 机、椅子、モニター、電話回線(○) ピッチ全体、試合の進行が見渡せる場所(○) 記録室4人が座れるテーブルと椅子、録音装置、空調設 備、電話	—
9	記録室	—	—	—	—	—	—
		ピッチ・観客席・大型映像装置が見える個室 3人が座れ、マイク、資料が置けるデスク、資料を設置でき る広さ 大型映像装置と連携 窓開閉可能	【2010】に沿う	ピッチ・観客席・大型映像装置が見える個室(O) 3人が座れ、マイク、資料が置けるデスク、資料を設置でき る広さ(O) 大型映像装置と連携(O) 窓開閉可能(O)	—	—	—
10	場内放送室	—	—	—	—	—	—
		ピッチ・観客席全体・大型映像装置が見える個室 場内放送システムと連携	【2010】に沿う	ピッチ・観客席全体・大型映像装置が見える個室(O) 場内放送システムと連携(O) 窓は密閉(O)	—	—	—
11	大型映像装置操作室	—	—	—	—	—	—
		メインスタンド1階	観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—
12	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
13	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
14	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
15	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
16	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
17	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
18	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
19	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
20	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
21	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
22	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
23	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
24	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
25	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
26	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
27	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
28	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
29	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
30	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
31	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
32	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
33	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
34	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
35	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
36	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
37	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
38	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
39	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
40	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
41	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
42	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
43	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
44	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
45	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
46	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
47	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
48	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
49	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
50	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
51	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
52	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
53	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
54	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
55	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
56	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
57	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
58	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
59	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
60	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
61	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
62	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
63	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
64	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
65	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
66	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
67	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
68	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
69	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
70	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
71	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
72	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
73	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
74	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
75	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
76	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
77	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
78	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—
79	観客・消防司令室兼控室	—	—	—	—	—	—
		観客席全体が見渡ること(O)	—	—	—	—	—

2	運営関連	監視室	ベッド、洗脱台、AED(ワロンレ所着)、製氷機、担架(2台)を設置 メイン1部屋(1階、コンコースからエレベーターで降りてすぐ) バック1部屋(コンコースから直接入れる) どちらにも[JFA]に沿う	50m以上(O) ベッド、洗脱台、冷蔵庫、AED、製氷機、担架(2台)を設置 (O)緊急車両 駐車場に直接アクセス可(O)	-	救急、場所、規模は適宜、本文最小規模50m(O) AED(O) 観客や緊急車両がスタジアムの内外からアクセスしやすい場所、担架や担架車が通りやすい廊下、明るい照明、換気、空調、電源、温水冷水飲料水の供給、男女トイレ、ガラスキャビネット、担架、毛布等の収納、電話(外線、内線)、サイン	a) 選手のロッカールームと競技のフィールドに近接した位置に、救急確保設備が完全に整い、医療責任者と救急隊員の訓練を受けた医療スタッフがサポートする救急メデイカルルームを設置。 i) 適切なマスクまたは経口エアウェイ付きの酸素ボンベ ii) 担架(資機材備用) iii) ストレッチャー iv) 吸引装置 v) 点滴セット(救急注射薬および薬剤付き) vi) 救急手筒用の道具と設備 vii) AED(自動体外式除細動器) b) スタジアム内に救急車2台用の駐車スペースを設置。	スタンド下層部
		スタジアム管理室	監視カメラモニター設置 検査設置(全員は入りきれない)	スタジアム管理室 (現状)確保 本部=運営本部棟(パーテーション等で仕切り)30㎡ 大人検査室=現状室内走路の半分の広さ	セキュリティスタッフ検査設置(A)	-	スタジアム内全体を見渡せる位置(O) 場内監視用モニター(O) テレビ監視システム、スタジアム内外に設置、録画、モニター再生、プリントアウト(O) 場内放送システム	
2	運営関連	自主整備本部室 (セキュリティスタッフ控え室)						
		その他控室	ボランティアスタッフ控室、ボールパーソン控室、エスコートキッズ控室	巨大型トラックがフィールドレベルへ入れる出入口 車庫用EV(大型を収め可能な大きさ)	ボランティアスタッフ控室、ボールパーソン控室、エスコートキッズ控室、家庭科各用チーム更衣室、マスコット演出関係控室、観客管理室等(A)		ボールパーソン更衣室、ボランティア、マスコット、演出関係控室 [JFA][2010]に沿う	・ボールボーイとフラッグベアラールームに、20名以上を収容できる、トイレ施設の近くの部屋を1室。 ・20名以上を収容できるミーティングルーム(40平方メートル以上)、テーブルと椅子はコの字型に配置。
2	運営関連	ゴミ集積所	なし	[2020]に沿う	設置(O)	・ダストシュート設置		
		倉庫	運営備品用、演出備品・機材用、案内サイン用、広告看板用	専倉庫【現状】のメイン階北倉庫全て×2、メイン、バック、サイド、売場用、場外用に分ける、コンコース、各ゲート周辺にも設置		・運営備品用、演出備品・機材用、売場の什器備品用、案内サイン用、広告看板用、売場用(保冷室)があること	設置(O)競技備品倉庫、売場倉庫、空欄備品倉庫、入場ゲート備品倉庫、サイン看板用倉庫、パーテーションのある部屋が望ましい	a) ビッチにすぐアクセスできる場所に、10平方メートルの設置可能な倉庫を2室以上設置。 b) 倉庫にはエアコン設置。 c) 倉庫が公衆やメディアから防犯されたエリアにあること。
2	運営関連	用器倉庫	あり	[1階]に沿う				2ヶ所以上、合計500㎡以上 床はグラウンドレベル
		指示室		[1階]に沿う				O スタンド上層部
2	運営関連	写真料定室	スタンド上層部	[1階]に沿う				O スタンド上層部
		情報処理室	スタンド下層部	[1階]に沿う				O スタンド下層部
2	運営関連	コピー室	なし	[1階]に沿う				O スタンド下層部
		役員・補助員休憩所		[1階]に沿う				O
3	運営関連	手帳室	メインスタンド3階×1 バックスタンド1階×1	40㎡×10 100㎡×1(ボランティア用)			設置(O)	
		用器倉庫	競技場管理室	必要				
3	運営関連	防災センター	設置室	自設置、防災用品収納庫 備災情報収容デスク				
		管理運営用WC	メインスタンド1階×2(男女とも)	メイン=1F×3、上階×3				
3	運営関連	(1)VIP受付	専用なし(正面玄関のみ)	設置				
		(2)VIPラウンジ	VIP席の後方	専用ラウンジ設置 専用VIPボックス(設置、1室につき10名以上、飲食スペース)メイン+バック側				
3	運営関連	(3)イベントリー	検漏室	設置、府研も必要				
		(4)VIP待通スタッフ控室	なし	設置				
3	運営関連	(5)その他	専用なし(正面玄関のみ)	設置				
		(1)メディア受付		観客手、家族の観戦席(審と分層) メインに300席 観客専用出入口 ・観客持ち込みが十分にできる広さ ・一段階、VIPエリア、選手入ロと干渉しない(理想はACLも対応可能)※日産スフィアのイメージ ・観客専用受付 ・同時に4人が受付を行える十分な広さ				

(2)記者室	25人程度収容 ノートパソコン・ノートが置ける机、TV、資料棚、給湯室	●記者控室 ・ベン記者専用80席以上(常設) ・フォトグラファー30席以上(常設) ・ENGクルー30席以上(常設) ・LAN回線＝無線 ・電源＝ ・資料設置用の常設棚(受付、記者控室、記者会見室) ・ロッカー＝30以上 [2020][JFA]に沿う	80人以上収容可能(O) ノートパソコン・ノートが置ける机、TV、録音再生設備、資料棚、冷蔵庫、倉庫(O)	●記者控室、記者会見室への専用給湯 ・リフレッシュメントエリア(食事提供)設置	200㎡以上(クラス1)● 記者席に応じてスペース確保 e)記者席200人～80人分 男女トイレ接続●)受付デスク、コピー、ファックス、TVモニター、カバン、伝達資料整理箱、記者作業エリア、フォトグラファー作業エリア、ロッカー、集線又は有線LAN●
(3)カメラマン室	なし(記者会見室を併用)	[2020][JFA]に沿う	40人以上収容可能(O) カメラ用ロッカー、資料棚、冷蔵庫、倉庫(O) ピッチに直接アクセスできること(O)	・リフレッシュメントエリア(食事提供)設置	スチールカメラ用フォトグラファー設置設備●)ロッカー(O) ピッチ増設電源、モジュラージャック(O)
(4)記者会見室 (インタビュールーム)	80㎡程度 前部には監視用のひな壇設置 バックパネルを設置可能 音響設備、マイク	●記者会見室 ・バックパネル設置スペースの確保 ・机・イス⇒100名以上座席できる仕様のもの ・音響・スピーカー⇒両側音・両側音・両側音用は必要 音響分離⇒10以上 ・監視専用用机⇒最大8人以上座席可能 ・テレビカメラ用ひな壇⇒同時に10台程度のENG(三脚)を設置可能	200㎡程度(O) 選手、監督用とメディア出入口を分ける(O) 前部には選手、監督用、後部にはTVカメラ用のプラットフォームを設ける(O) バックパネルを設置可能(O) 音響設備、マイク(O)	・天井高のあるシアタースタイル(200㎡以上)とすること ・音響分離、スポットライト ・1000L、色温度3200Kの照明 ・バーカウンター	設置● 100㎡以上(記者室と併用可能) チーム更衣室側に監督、選手、通訳等が並ぶ受付・出入口、反対側に10組以上のテレビENGクルーの座、音響分離、モニターで集中管理できる音響システム(O) チーム更衣室から直接にアクセス
(5)モックスゾーン	なし(ピッチサイドで実施) 雨天時は正面玄関内ロビー	●モックスゾーン ・両チームの選手が同じスペースにて取材対応可能な場所 ⇒VJや実況等と干渉しない(理想はACLも対応可能)※ ※様々のレイアウトのバリエーション ・常設、可動式、ポータブルバックパネル ・TV共用インタビュールーム可能スペース ⇒同時に3台程度のENG(三脚)を設置可能 ・記者が選手の取材可能な十分なスペース ⇒同時に80人以上の記者がそれぞれのチームの選手に取材可能	チーム更衣室とチーム駐車場との間で記者室、カメラマン室、記者会見室よりアクセスしやすい場所(O) バックパネル、旗を設置可能(O)	・風雨の影響を受けず騒音がない ・1000L、色温度3200Kの照明	設置● 200㎡×1箇所 チーム更衣室に近い位置 既設のエリア活用可
(6)フラッシュインタビュー・ポジション	ピッチサイド	[2020]に沿う	ピッチとチーム更衣室の間⇒3m×3m(O) バックパネル設置可能(O)	・風雨の影響を受けず騒音がない ・1000L、色温度3200Kの照明	設置● 200㎡×1箇所 チーム更衣室に近い位置 既設のエリア活用可
テレビスタジオ	なし	[2020]に沿う	テレビスタジオ ・記者専用～スタンド内カメラポジション～中継ブース～屋上カメラ(メイン)まで通行可能	・チーム更衣室の近く⇒5m×5m、高さ23mのスタジオ設置 ・スタンドの上層にピッチが見渡せるプレゼンテーションスタジオを設置	a) スタジアムには、以下の要件を満たすテレビスタジオを設置しなくてはならない。(3層、縦5m×横5m×高さ23m、ピッチが見渡せるプレゼンテーションスタジオを含む、安全なモックスゾーンの確保に十分なスペース) b) テレビスタジオの扉はガラス製で、ピッチを見渡せるようになっていることが望ましい。
その他	なし	[2020]に沿う	記者専用階段・エレベーター ・記者専用～スタンド内カメラポジション～中継ブース～屋上カメラ(メイン)まで通行可能	・チーム更衣室の近く⇒5m×5m、高さ23mのスタジオ設置 ・スタンドの上層にピッチが見渡せるプレゼンテーションスタジオを設置	a) メディア代表者用に、デスクと選定席面へのアクセスを設けたエリア向けの部屋(100平方メートル)を確保。 b) メディアセンターは、メディア席、記者会見室およびモックスゾーンエリアと隣接に設置。 c) メディア専用通路 d) メディアセンターには以下のものを設置。 i. 70名分のテーブル、椅子およびインターネット接続 ii. コピー機1台およびすべての消耗品 iii. ファックス機1台およびすべての消耗品 iv. メディア代表者およびホスト放送局用のビジョンホール(仕切り壁) v. 情報サービス、ケーティングおよび輸送の手続きを行うオフィス(AFCから要求された場合)
(1)実況放送室 (テレビ、ラジオ)	2層所 2人が座んで座れる部屋1、4人が座んで座れる部屋1、ピッチ全体を見渡せる TVモニターや資料を置く机、旗、旗を設置可能 電源 窓はサイドが開くのみ ドアの下にケーブル用通線口	●中継室(4層以上) ●観客席内にTVカメラ設置ができるスペース [2020][JFA]に沿う	5層所(O) 4人が座んで座れる、ピッチ全体を見渡せること、TVモニターや資料を置く机、旗、旗を設置可能(O) 窓がフルオープン(O) シッター設置(A) ドアの下にケーブル用通線口(O)	・6層以上 ・音声機材が置ける広さ	テレビおよびラジオ実況ブース a) 何ものにも遮られずピッチ全体を見渡せる、完全に隔離されたエアコン付きの部屋(100平方メートル)を確保。 b) 実況ブースはメインカメラの位置と隣接に設置、隔離された場所の場合は前面の幅3m、奥行3m、高さ2.5m以上。 AFCおよびVSTVIによって隔離されていない場所が要求された場合は、前面の幅3m、奥行2m以上。 c) 各実況ブースには最低でも、電源コンセント2口と、DDまたはSDMに接続可能な電話ジャック2口を設置。 また実況ブースには、中継室からブースへ騒音をつないだり、ブースから中継室へ音声をつないだりするための設備を設置。 d) 実況ブース用のメイン電源とバックアップ電源、および断りを設置。 e) 各実況ブースには、最低でも3つの座席を設置。
(2)中継スタッフ控室	メインスタンド1階	[2020]に沿う	設置(O)	・50人以上収容可能な部屋	-
(3)テレビ中継カメラ設置スペース	メインスタンド屋上スペース メインスタンド内外側は路上トラック上 両ゴール裏中央は広告看板設置、両側サイドスタンドはスコアボード下 両ゴール裏ポジションは前列記者による視界を妨げる	●中継・ENGポジション ・スタンド内(上部センター/ピッチ全体が見切りなく見渡せる場所) ⇒中継用センターカメラ2～3台、ENGカメラ(三脚)1～4台同時に設置できる広さ ⇒電源 ・スタンド内(ゴール裏) ⇒中継用センターカメラ2～3台 ⇒電源	メインスタンド中央部4台分(4㎡×4台)(O) メインスタンド内外側バルコニーエリアのライン延長線に各2台分(4㎡×4台)(O) 両ゴール裏中央に2台分(4㎡×2台)(O) 前列記者による視界妨げのない場所に設置(O)	・全ての設置スペースに椅子設置 ・専用プラットフォーム設置	メインスタンド中央部4台分(4㎡×4) 両ゴール裏スタンド中央2台分(4㎡×2) メインスタンド内外側バルコニーエリアを囲むラインの3ヵ所、設置可能な位置を確保 a) メインカメラの位置は、ハーフウェイラインと完全に直線上にあり、水路面から中心面への傾が15～20度の角度をなす高さ。 b) メインカメラのプラットフォームの面積は12平方メートル以上。 c) メインカメラの位置以外に、各バルコニーエリアと同高さのオフサイドカメラ用の位置を設ける。 d) ゴール用のカメラ位置と反対方向のカメラ位置を明確に確保。





IV アクセス関係								
1 駐車場	一般用 (公園内にあり(家にははる満車になる) 車椅子用 競技場前(フロントヤード)に独自に設定 団体バス用 競技場前 VIP・メディア・関係者等はまとめて1箇所 選手バス・荷物車は正面玄関前に停め置き	■チーム、VIP、メディアの動線、入口分岐 ■選手用のファンサービスができる通り ■関係者用駐車スペース(300台程度) ■TV中継用駐車スペース ■大企業用(大型トラック、バス)が駐車可能なスペース ■場外一般車路 ■VIP用車寄せ、駐車スペース ■身障者用駐車場 【2020】【JFA】に引	一般用 公共交通機関の状況により、収容人数を見ながら台数を確保(○) 車椅子用 車椅子ゲートにアクセスしやすい、車椅子係と同様設置(○) 団体バス用 ツアーバス(の駐車可(○)) チーム用 チーム入り口付近にチームあたり大型バス1台、ワゴン、ミニバス2台(大型バス1台、4トラック1台、乗用車1台) 緊急車両用 警察、消防、救急車等の確保、救急車がピッチ脇までアクセス可(○) VIP用 VIP受付にアクセスしやすい、VIP席に相応する台数確保(○) メディア用 メディア用の設置(○) テレビ中継用 中継車、編集車、電源車、増設車、支援車用(○) 放送ブースに近接、ケーブルの絡みに影響しない場所(○)電源、椅子席、屋内空調の設置(A) 大型トラック用 大型トラック用の確保(○) 高層用 スタッフ用の確保(○)表示、ケラック前入庫高用はスタジアム内部の出入口付近に設置、夏季は保冷車も考慮(○) シャトルバス用 通行する場合は、バスレーンの設置(○) その他関係者用 その他関係者用の確保(○)	VVIP用 VVIP受付にアクセスしやすい VVIP用駐車場には運転手待機所を設置すること スカイラウンジ用 スカイラウンジ受付にアクセスしやすい ビジネスシート用 ビジネスシート受付にアクセスしやすい バス、大型トラックの回転できるスペース	説明、サイン(○) 一般及び身障者 身障者は入口付近(○) メディア用 専用、メディア作業エリアに近い位置(○) テレビ中継車用 専用駐車場を確保、地震耐強(○) VIP・VVIP用 専用駐車場を確保(○)VIP席数に応じて設置(○) チーム用 更衣室に近接した専用駐車場 大型2台、乗用車3~4台(○) 緊急車両用 救急車等に設置(○) シャトルバス用 設置(○) チームカメラフォトグラファー用 (○)	a) チームとオフオフィシャル用は、最低でもバス2台および乗用車10台分の駐車スペースを確保。 b) 大会の決勝戦については、前述の駐車場のほか、安全かつ風通されたエリアにCFCが20台分の駐車スペースを使用する。 a) AFC、ホスト放送局およびメディア電ライセンサーが独自の使用できる、20台以上の駐車スペースを確保。 この駐車場は、ホスト放送局とメディア電ライセンサーの技術面を収容するのに十分なサイズ。 b) すべてのホスト放送局用駐車場は、ホスト放送局の作業エリアに近接した、または可能な限り近い有利な場所に指定し、作業エリアに直接アクセス可能。 c) 前方向き放送機材の組み下ろしを容易にするため、これらの駐車場の三分の一以上をスタジアムの入口に近い場所に設置。 スタジアムの物理的な構成のためにそのような駐車スペースを確保できない場合は、メディア電ライセンサーが前方向き放送機材およびスタッフを下ろすための専用の地点をLOCが指定。この地点は、スタジアムの入口にできる限り近い位置に配置。		
	2 駐輪場	公園内	(公園内)	アクセス環境を備えて設置(○)	雨にぬれない 駐輪のための機材設置			
	3 シャトルバス乗降所	公園内	(公園内)	(通行する場合は)行先別に待機スペースがある乗降所(○)	雨にぬれない			
	4 タクシー乗降所	なし	■タクシープールスペース	メディア、VIP、関係者が利用できるタクシー乗降所設置(○)	観客が利用できるタクシー乗降所			
V 観客用設備								
出入口関係	入場券売場	メインスタンド あり、ただし関係ゾーン(大層内)であり使用できず バックスタンド あり、ただしスペースが狭い(使い勝手が悪い)	■乗客数の当日券売先席 2(〜4) 【2020】【JFA】に引	複数窓口設置(○) 施設セキュリティ確保(A) 券購入者のための応対設置(○) 販売する席数、料金提示	LAN回線 電子マネー対応システム 入場時の観客用LED看板	非元照射(○)		
	入場待機スペース	狭い	■入場待ち列のスペース ■トイレ設置	ホーム用、アウェイ用に分けて待機列が設けられる十分な広さ(○) 外周全体監視期間(○) 待機列が関係者入口、出入口と交差しない(○)	雨にぬれない 緊急時の避難場所に利用可能	収容人員の2〜3割、トイレ設置、屋根設置、照明、イベント用設備(○)場内放送、入場時の観客に押し、独立して放送可能)、埋込み式(リカー) (○)		
	入場ゲート	ゲート外側のスペースが狭いため待機列が作れず、使えないゲートが多数	■入場ゲート ・十分な広さ、奥行き ・屋根 ・車イス専用スロープ(EV) ・電子チケット対応型	観戦エリアに応じた入場ゲート(○) 屋根、電線、照明設置(○) 手荷物検査、ピン、缶を移し変える設備(○) フロントヤード設置(○) 車椅子用入場ゲート(スロープで車椅子乗へ)(○) スタジアム基本原則の提示(○)	顔認証システムによる入場許可・制御 手荷物預かり箱(ベビーカー等) 入場ゲートとは別に進場ゲート設置 入場ゲートは自動改札、ターンスタイル LAN回線 入場時の観客用LED看板	手荷物検査、屋根設置、照明、電線、LAN、手荷物預かり所、迷子案内所	a) 入場ゲートや面経路は、混雑を避け、観客のスムーズな流れを確保するように設計。 b) 観客エリアにある公共の通路と階段はすべて明るい色。また、観客エリアから競技エリアへすべてのゲートおよび、スタジアムから外へ出るためのすべての出口扉とゲートも同様。 c) スタジアムのすべての出口ドアとゲート、および観客エリアから競技エリアへ続くすべてのゲートは、以下に準ずる。 i. 施設設置が取り付けられていること。この設置は、出口ドアやゲートの場合は内側から、競技エリアへ続くゲートの場合はいずれの側からも開閉かつすばやく操作可能。 ii. スタジアムに観客がいる間は解錠のままになる。 d) 以上に加え、エリートスタジアムに分類されるスタジアムは、リアルタイムのデータ分析によって過剰チケットの使用を防止する、近代的な電子アクセス制御システムを設置。	
	VIP受付	専用なし(正面玄関のみ)	設置	VIP専用扉付入口・受付(○) VIP駐車場から直接アクセス可、メディアのアクセス規制可能(A)	クローカー設置	設置(○)	VVIPのアクセス経路にはEV、エスカレーター設置 オブザーバーなどがチーム更衣室を動ける必要に応じて、監視確保	
	メディア受付	専用なし(正面玄関のみ)	設置	メディア専用扉付入口・受付(○) メディア駐車場から直接アクセス可(A)				
	試合関係者入口	専用なし(正面玄関のみ)	設置			(○)		
出入口	専用なし(正面玄関のみ) チーム荷物のみロッカーに直接搬入可能	設置		看板用出入口(4箇所以上が望ましい) 観客の待機列と交わらない ・急な坂道にならない ・大型トラックや大型トレーラー(長さ16m)が出入できる幅、高さがあること				

エスカレーター 出入口確保	なし	【2020】に沿う	-	-VVIP、VIP、スカイボックス、ビジネスシート用 -記者席、実況放送席用 -観客用	-	-
エレベーター	北・中央・南に1基ずつ	【2020】に沿う	-	-VVIP、VIP、スカイボックス -TV中継カメラ、TVニュース放送ENGカメラ用 -リフト用 -放送用 -車椅子観客用 -マッチコヒーシター、記録室、境内放送室、大型映像操作室、監視室防犯用等	-	-
総合案内所	フロントレールで仮設テント設置	商業施設の総合案内所 メイン外側 会場内総合案内所 メイン、バック	観客用ゲート等わかりやすい場所(O) 運営本部と連携、迷子、落し物対応(O)	-常設で複数箇所設置	設置(O)	-
救護室	なし	救急医療設置(スタンドから直接出入り) メイン、バック	どの席からもアクセス可能(仮設可)(O) AED、応急セット(O)	-常設の救護室を設置	適宜配置(O)	a)各区域に、所轄の地区消防が承認した、完全に設備が整った観客用の応急処置施設を設置。 b)応急処置施設は明確に識別され、各設へのアクセスは明確な標識で示す。
授乳室	バックスタンドチケット売場で代用	専用授乳室設置(スタンドから直接出入り) メイン、バック、西サイド	どの席からも誘導、アクセス可能(O)	-	-	-
託児室	バックスタンド下の部屋を利用	託児(トイレ、水道も)	-	-ベビーシッターによる託児所設置 (トイレ、水道、テレビ、録音機全備)	-	-
喫煙スポット	ゲートから場外に引きつり設置	喫煙場所の分離(煙が流れないように)、4~6 箇所十分な広さ	観客席と隣席、どの席からもアクセス可能(O) 分煙・排煙設備(O)	-	隔離した場所に設置(O)	-
トイレ	メインスタンド 男性用10、18(小)ノ女性用29 バックスタンド 男性用10、38(小)ノ女性用32 北側サイドスタンド 男性用8、40(小)ノ女性用30 南側サイドスタンド 男性用8、44(小)ノ29 おむつ替えベッド、洗面台 多目的9	男女トイレ(2階成も) 【2020】【JFA】に沿う	どの席からもアクセス可能(O) 洗面台(O) ハンドドライヤー、おむつ替えベッド(A)	-最大入場可能数に符合する適正台設置 -女性1000人につき20室、洗面台7台 -男性1000人につき2室、小便器10箇所、洗面台5台	明るく衛生的なもの(O) 十分な数のトイレ設置 子供用トイレ、和式洋式の比率配慮、乳児対応 女性1000人につきトイレ20、男性7 男性1000人につきトイレ5、小便10、洗面5、VIP、VVIPエリアは比率配慮 トイレの出入は一步通行	a)便所付きトイレ(男女すべての観客用)および小便器が、スタジアムの各区域において使用可能。トイレ数の割合は観客200名につき便所付きトイレ1つ、125名につき小便器1つ。
多目的トイレ	車椅子席からアクセス可能	【2010】【JFA】に沿う	車椅子席からアクセス可能(O)	-	-	多目的トイレや子供用トイレは5000人の観客に付1室
観客用施設	公団内	(公団内)	観客席に使用できるトイレが観客ゲート付近にあること(O)	-	-	-
場外トイレ	観客席増設の際に広げられていないようであり、収容人数に見合わない広さ 常設売店×2(その他売店はテーブル置き等の仮設)	十分な広さ(21車通行可) 第一用であること 観客席から観客スタンドへの入場口を分ける 観客席(ファミリー席等)分けできるスタンド 観客席、売店、こみ等等の出づ強りコンコースを狭くしない 観客席等の電光掲示板(データ変更で表示変更できるもの) 【2020】【JFA】に沿う	十分な広さ、適度な明るさ(O) 洗面、緊急通報用無線設備(O) トイレ、飲食売店、グッズ売店、救護室、授乳室、喫煙スポットが設置(O)	-海産物に全ての観客が観覧可能 -スタジアム内(小)エリアコンコース -各席の行き来自由 -コンコースから観客席への動線に手摺 -同一階層で緊急車両、売店車両が一層可能、セクター分け可能 -スロープ等で緊急車両や売店車両が上層コンコースへ移動できること -階内共通とTVモニター設置、携帯電波用電波確保 -監視可能なビデオカメラを各場 -コンコースに設置がないこと	広いスペース確保、将来的には空調設備が稼働した室内空間が確保される 飲食売店、グッズ売店、レストラン、電源、電話機、LAN回線	-
コンコース	バックスタンドコンコース	【JFA】に沿う	必要に応じて設置(A)	-	設置(O) 緊急時の情報伝達手段	-
公衆電話	(場内)10箇所ゲート内、(場外)正面玄関前	【2020】に沿う 場内、場外に広く	-	-場内もしくは場外に、イベントが開催可能なスペースと設備(屋根、ステージ、音響、人工芝)を設けること	-	-
イベントスペース	場内:常設売店×2(その他売店はテーブル置き等の仮設) 場外:正面玄関前広場を利用	■常設飲食売店(十分な広さ) ■売店への電波回線LAN回線 ■観客席設置場所及び火器使用設備 【2020】【JFA】に沿う	どの席からもアクセス可能(O) 細かい飲食物を提供(O) 売店外側に企業名、ロゴ、メニュー等の表示(O) 電源・照明(O) 観客席以外でも飲食可能なテーブルやカウンター(O) 持込物類がトイレと近くない配慮(O)	-店舗型にはシャッターが設置、開閉可能 -開閉可能を確保できるPOSレジ使用可能 -電子マネー、プリペイド方式、ポストペイ型決済機設置 -各席下に設置設備 -販路拡大、上下水道、排煙設備完備	各所に限りなく設置(O) 開閉可能なスペース(O) コンコースに椅子やスタンディングテーブル等の設置が望ましい、ゴミ箱、出入りEVを設置する工夫	-
飲食売店	公団内	【2020】に沿う	-	-試合開催日以外でも営業できるレストラン、カフェ	-	-
レストラン	メインスタンドに横、ベットの販売機	【2020】に沿う	-	-持ち込み禁止以外の容器による飲食物の自動販売機 コーナー設置	-	-
自動販売機コーナー	フロントレールで仮設設置	■試合日以外も営業可能な常設のグッズ売店 【2020】【JFA】に沿う	どの席からもアクセス可能、屋根付、適正な数(O) 電源・照明(O)	-電子マネー、プリペイド方式、ポストペイ型決済機設置 -店舗内に商品ディスプレイスペース -グッズが保管できる広いバックヤード -店舗型にはシャッターが設置、開閉可能 -開閉可能を確保できるPOSレジ使用可能 -試合開催日以外でも営業できる常設のメグストア	各セクション設置(O) エリア分類している場合はどこからもアクセスできる場所、電子マネー対応、電源、電話回線、女子トイレや授乳スポットへの動線と支わない	-
観客用施設	グッズ売店	-	-	-	-	-

その他	ハット設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オムツ換え室(スタンドから直接出入り)</li> <li>■幼児用プレイエリア</li> <li>■乗客の仕切りの容易な設置</li> <li>■可能なセキュリティフェンス</li> <li>■ハット設置対策</li> <li>■有事の際の広域避難場所としての活用(災害時のスムーズな避難動線、スペース)</li> <li>■ベビーカー1台あたり</li> <li>■客席は10席(両側)単位で設置</li> </ul>				<p>安全の確保と観客の快適のため、スタジアムには照明の全般的な故障に備え、所轄の地元当局が承認した非常照明システムを、公衆が立ち入れるすべての部分(すべての出口および避難ルートを含む)に設置。</p> <p>案内放送システム</p> <p>4) スタジアムには、スタジアム内外の公共エリアにメッセージを確実に伝達できる、高品質の巨大スクリーンを備え、案内放送システムを設置。</p> <p>5) 案内放送システムは主電源が故障した場合にもその影響を受けてはならない。</p> <p>6) また、スタジアムには、CDまたはDVD音楽プレーヤーと、公衆にメッセージを伝達できる巨大スクリーンを設置。</p>
VI. その他						
スタジアムミュージアム	なし	設置、試合日以外も営業可能な常設のミュージアム				
プロンターレ神社	プロンターレで仮設設置	設置				
その他	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>■設置、100㎡以上</li> <li>■スタジアムセキュリティシステムと切り離れた出入口、セキュリティ、カギ</li> <li>■倉庫、トイレと連絡</li> <li>■公園内地施設(広場、野球場等)を活用した賑わい創出の仕組み</li> <li>■近隣活著対策</li> <li>■近隣一公園内の徒歩動線(歩道)の確保</li> <li>■クラブエンブレム等の常設大型装飾</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■競技場壁面にクラブエンブレム</li> <li>■地域性とアクセスを促した埋込施設</li> <li>■スタジアム管理運営をクラブが行う</li> </ul>		
クラブ事務局	なし					
その他						